新女界

第二巻　第十號

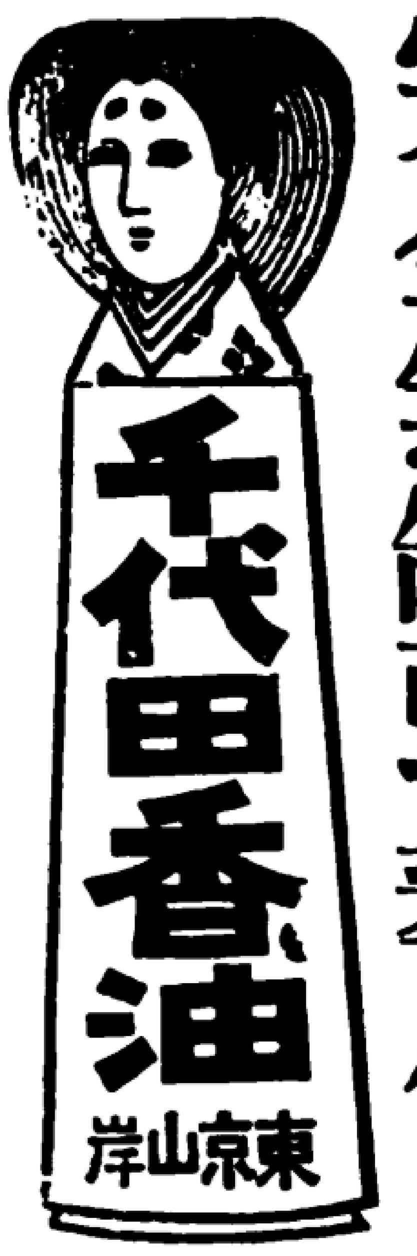
明治四十三年十月一日發行（毎月一回發行）
明治四十二年三月廿九日第三種郵便物認可

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

新女界第貳卷第拾號目次

●勤勉なれ　安井哲
●日韓の合邦　海老名彈正
●子女敎育に對する母の務(其十)　海老名みや
●スミス大學と校長シーレー博士　形影生
●愛の神秘　口村佶郎
●有珠の噴火を見る　野の人
●秋の花　無繫生
●湯臺叢話　谷津直秀
●淸國人の食道樂　片山幽吉
●兩毛の三日　和田信次
●摘草集(新聞雜誌瞥見)
●時事其折々
▲日韓合邦後の草々▲巴爾幹諸邦の雲風▲淸國資政院の開會▲千里眼婦人の出京▲臺灣蕃族の討伐
●隨感
▲子供の自重心を傷ふ勿れ▲無慈悲なる母親▲畸形的女性

完全無缺頭髮用



夏になつて自らも不快、他人をも不快に感せしむるものは毛髮のふけと惡臭です、女髮結が屢々病に罹る源は此猛烈な惡臭の爲めに神心を煩ふからだと申します

此點に於て第一に御勸め致しますのは**千代田香油**であります本品は純粹の椿油を根本とし歐米流行の香料を配劑した佳品です

毛髮{を漆黑ならしめ／ふけを防ぎ／くせを直し}

芳香優秀で長時間を保ち香水の代用を爲し自ら心神を爽快ならしめます

特製七十錢　大瓶三十五錢　中瓶二十五錢　小瓶十七錢

試用見本は郵劵代用にて御申込次第送附す

スワン石鹼

純白で湯水に浮き價安くして品の善いスワン石鹼は到る處の小間物、化粧品、藥舖にあり

スワン石鹼
日本一手販賣
東京馬喰町四丁目
山岸三之助
電話浪三七九三
振替口座一九九七八

婦人世界

九月一日發行（第拾壹號）一冊拾五錢〔郵税一錢五厘 半年分郵税共一圓五錢 一年分郵税共二圓五錢〕

七夜水責に遭ひし當時……福來博士夫人

▼日本婦人は自ら幸福を感ぜよ……村井弦齋

▼賣藥を行商して歩く私の苦しみと樂しみ……藤本照惠子

▼我が半生の哀史……女子高師教授黒田定治氏夫人 黒田鏗爾子

▼水害地を廻つて見聞した感心な婦人……金子貞子

◎結婚前の理想と結婚後の實際……櫻井中尉夫人

◎私が朝鮮王に謁見した模樣……目賀田男爵夫人

▼女學校の校長より米屋の主人となる……深田憲治

▼小兒病の豫防法……醫學博士 加藤照麿

▼明治初年に寫眞屋を開業した苦心談……江崎禮二夫人

▼日本婦人と結婚した朝鮮人の感想……洪範鎭

秋季增刊『婦人と實驗』十月五日發行（定價拾五錢 郵税一錢五厘）

東京京橋 南紺屋町 實業之日本社 振替貯金口座三二六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

羽仁もと子編輯

毎月一回 一日發行

婦人之友

定價
一冊金拾貳錢
半年六十五錢
一年壹圓廿錢
(郵稅共)

●三巻八號(九月一日發行)

臺所畫報(其四)
簡單なる處世法……羽仁もと子
貯金の出來ない家のために
おさらひの方法……一老人
子供と作文
小兒と腸胃の病氣……醫學博士 加藤照麿
座談一束
▲よき母親の苦心はこゝにあり
▲機智
▲道樂論
▲學校の罪か家庭の罪か
▲舅姑問題雜感
仕立物の參考(二)……齋藤春代
短尺の反物にて袖の長き着物を裁つ場合。
主婦の經驗
大巾五尺の布にて四つ身を裁つ法○トマトー飯○鹽こんぶ○かた豆○重湯が嫌ひて困ります○洗濯法のよき書物○油蟲の退治方
育兒問答……編者
家政問答……同
下婢の一日(課題)
讀者消息 意志の鍛錬のために冷水浴。とし子を育つる母親の苦心

●三巻九號(十月一日發行)

發行所 東京小石川雜司ケ谷町 振替東京壹壹六〇〇番 婦人之友社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

見よ大發展せる本誌と大附錄

婦人くらぶ

拾月一日 第參卷第拾號

定價十五錢郵税壹錢半 六冊前金税共九十錢 十二冊前金税共壹圓七十四錢

▲家庭の情味を忘れんとする女學生……鎌田慶應義塾長
▲母とも思つて縊つた姑……白木糸子
▲破產したる名門の奧……埴科松代
▲名流婦人月旦……小塊迂史
▲先祖の位牌で打擲さるゝ劇……坂谷男爵
▲赤阪區の女（東京十五區のうち）……國木田治子
▲私は金時計（滑稽小說）……千鳥女
▲藝術好きの女の末路……くれなゐ女
▲お嫁入の前後……小崎千代子
▲小公女（附錄家庭小說）……バーネット女史原著

臨時增刊 十月十五日發行 定價三十五錢 郵税二錢（口繪アート四六倍版四十八頁）

韓國併合紀念 皇室畫報

我國の元首なる皇族方及び新王族の最近の御眞影を漏るゝ所なく集め奉りて善美なる畫帖となしたるもの、宮内省別當會議の結果特に最近の御眞影御貸下げの榮を得たるものなり。韓國併合といへる曠古の大業を遂げたる記念として各學校及び家庭に一本を備へられん事を勸む

東京市神田區駿河臺北甲賀町十番地 紫明社發行 〔電話本局三六八四番 振替口座一七五五四番〕

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

● 婦女界臨時增刊

名流婦人の處女時代

十月十日發行 一冊十五錢 ●

婦女界

十月號

●●●●

國家の膨脹と女子の特長を示すべき機會 文學士 下田次郎

子女の教育は學校ばかりに任せて置けぬ 醫學博士 森鷗外

虛榮に囚はれたる現代女子の結婚の目的 文學博士 加藤玄智

酒呑の夫は斷くして禁酒せしむべし 醫學博士 大澤謙二

▲米國で自活勉學したる實驗――不具の美術家に嫁した婦人

▲二人の子持で女子大學卒業までの九年間の苦心…堀内ます子

未曾有の大洪水に逢ひ乳呑兒を抱へながら三晝夜絕食して天井裏に避難せし女の實驗

▲婦人の容姿と帶と袴の關係――子供は何故云ふ事を聞かぬか

▲十四年間同棲した良人に棄てられ行商自活した苦心…せき子

●●●●

毒のあるきのこと毒のない菌

產前產後に於ける心得方 必讀

最も簡單なる婦人の內職 原生

不思議な魔美人の魔力 福來博士と實驗したる

一冊十五錢 六冊九十錢

▲貴婦人の交際 振

▼菊と文藝……

▼硯箱の薦め方……

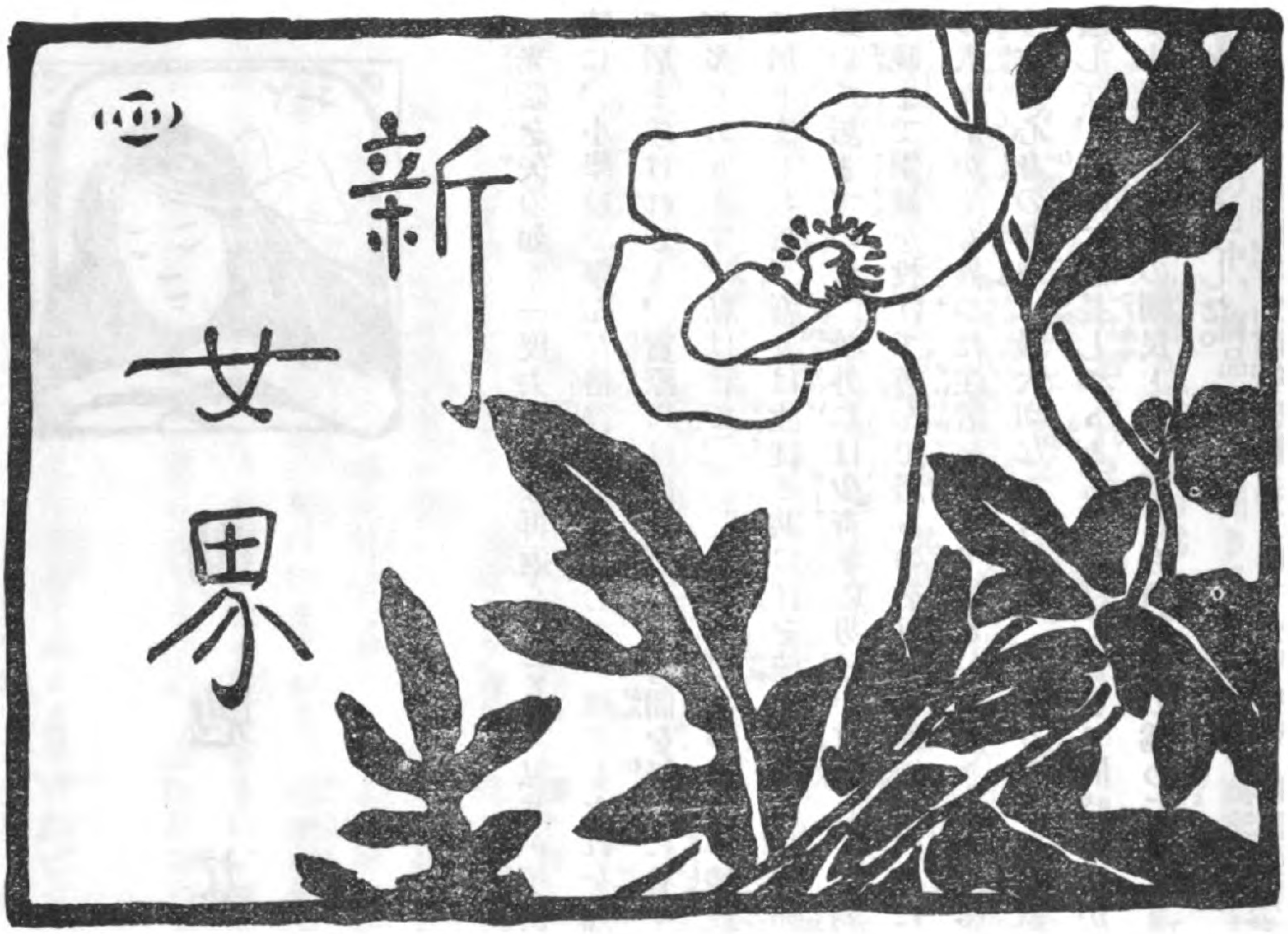
▼寫眞を撮る時の注意

▼家庭西洋料理……

▲朝鮮の奇習

東京神田 同文館 振替一三五

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



第貳卷第拾號

夫れ天下に眞と妄とあり、天理より出つるは眞也。人欲より出つるは妄也。天地開けそめしより、三綱五常の道ありて、古も今もかはる事なし。されば天道は誠より出て眞なるものなり、いかで是を夢となし假となさん、但世の人々、多くは富貴利達を謀り、毀譽得喪に拘りつゝ、一生東西に奔走して日夜經營する程に、忽に往き忽に來り圖らざるにさかへ、はからざるにおとらふ。是等は皆人欲より出て、妄なるもの也、夢ともいふべく假とも云ふ可し、孔子も不義の富貴を見給ひて浮雲のあるかなきかのやうに思ひ給ふとあり。（室鳩巣）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勤勉なれ

安井哲

「光陰を矢の如く一度去りては再返らず」とは、私共が子供の時に、小學校で學んだ格言でありまして、誰でも之れを知つて居ますけれども、實際には此貴重なる時間を無益に費す事が多くあります。私は曾て「バンコック」の女學校に奉職致して居りました折、吾々は生徒と共に汗を流して、一生懸命に働いて居ますのに、校外には少青年の男子が打混じて、朝から晩まで銅錢を投げて遊んで居るのを見て、學校の內外に在る人々がかくも異つた生活を爲して居るかと驚き、未來多き少年が心身の發達に最大切なる時期を、かゝる下等な遊戲に費して、無學に成長しつゝある事を深く憐むと同時に、かゝる少青年を未來の國民とせねばならぬ國家の爲めに悲しまざるを得ませんでした。

翻つて吾國の少青年を觀ますに、小學校や、高等女學校、中學校等の下級に學ぶ者は、學問を樂しみに勉强もしますが、次第に年が長ずるに從つて、熱心に勉强する者は減じて來る樣に見ねます。親に學資を仰いで、遙々と東京に修業に來る青年男女の學生中、最眞面目に熱心に勉强して居られる人々も少くはすありままいが、中にはブラ々々と其日を送り、學資も、時間も浪費して居る者も亦決して少くはありません。かゝる人々は終に學資の缺乏となり、父兄の不信用となり、自暴自棄となり、墮落となり、罪人となり、自殺となる等、數知れぬ罪惡を犯す樣になるのであります。

私は寒い朝、雪を犯して、未明に牛乳や新聞を配達して歩く青年を見る毎に、彼等が正しい一の目的に向つて、一生懸命に働いて居る、其眞面目な心狀と、薄衣能く極寒に耐へ得る健康の身體とを稱せずには居られません。或は又炎熱燒く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が如き夏の日中、商品の御用聞きにと奔走する商家の雇人を見ます時には、彼等が其職務の爲めに、自然炎署を忘れて居る幸福を羨まずには居られません。

吾々は實に時を化して金とも智識ともする事が出來ます。富者も學者も、貧乏人や無學の者と同樣に、一日廿四時間しか有つて居りませんけれども、其時間の利用と浪費で、一方は學者となり、他方は無學の者となり、一方は富裕の身となり、他方は貧困に終るのであります。勿論學者は初から學者たるべき資質を備へて居り、富者は富者たるべき伎倆を備へて居りもしませうが、假令天性餘り優劣のない人でも、毎日一時間書見する人と、全く書見せぬ人と、毎日一心に稼ぐ人と、ブラ〳〵遊んで居る人とは、一年の終りに得る所の差が非常に大なる者でありませう。現時の少青年、殊に都會に住んで居る者は、電車や馬車の騒がしい中に落付かぬ生活をして居りますから、熱心に一事を遂行しやうといふ氣が、次第に減殺され、注意が諸方面に奪はれますから、忍耐勤勉等の氣風は次第に衰へて來ます。其故に餘り苦しまずに、成るべく速に成功したいと考へる樣になりますが、之れが却つて不成功の基であります。

勤勉は成功に缺くべからざる要素でありますけれども、其以上に必要な點を最良なる道德的影響を精神に與ふる事であります。吾々が或眞面目な目的に向つて有益に時間を用ふるといふ事は、惡念を去る最良の方法であります。其故に心の平和を保つ唯一の方法は、正しい仕事を熱心に爲す事であります。或人は「煩悶の一日は、勞働の一週間よりも、多く疲勞す」と申しましたが、實に其通りであると思ひます。私は曾て英國に居りました折、日曜日の午後、寄宿致して居りました家族一同と、折々遠足に出懸け、御茶一抔飮まずに田舍道を歩き續けて、足を引ずりつゝ歸つて來る事がありましたが、精神は爽快に、顏は健康さうな血色を帶びて、食慾も増し、休息を樂しんで、家の門に入りますと主人は「疲れましたか」と問ふを常とし「疲れました」と答へると「快い疲れ方でせう」といつて滿足して居りましたが、かゝる種類の疲勞は直に恢復し、且善良な結果を得る者であります。

我々は怠惰と休息とを混同する事が往々ありますが、何事もせずに、唯ブラ〳〵と暮して居る人は、休息して居るのではありません。例へば何の變化もない一室にゴロ〳〵と暮して居れば、精神は其一調子であるが爲めに疲勞を覺ね、身體は運動を致しませんから、活氣に乏しくなります。かゝる人は終には憂鬱性となり、悲觀的となつて、此世を不愉快に感ずる樣になります。故に我々が若幸福を希ふならば、身體が健康で、精神が活潑である樣に務めねばなりません。之れを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我々の心身が常に何か正しい目的に向つて、活動するに依つて得られるのであります。故に我々が働くのは、貧賤なるが爲めでなく、健康と元氣とを保たんが爲めに、自適當なる活動を要求する結果であります。彼「ジョン、ハリファックス、ジエントルマン」中にある貧少年が我に、「眞面面なる仕事を與へよ」といつて、妄りに他人の惠に浴せず、吾腕に依つて衣食を得んと努力した心状は、私共の大に學ぶべき點であると考へます。彼の貧すれば直に他人に食を求め、仕事を爲れば成るべく容易な者を選び、今日の事は明日に延ばし、共同の仕事は成るべく他人に爲さしめんとする樣に、「ずるける」態度は、吾々の間に往々認められる傾であります。かゝる不活潑な、怠惰な、不眞面目な氣風を引締めて、一奮發働からうといふ務力を喚起す事は、吾等個人の幸福は勿論、國民の元氣を養ひ延いては、國家の隆盛を圖る上に最必要な事であります。

　吾々日本人は熱情を有する國民であります。其故に何事かあれど、之れに熱中して一生懸命に致しますが、之れを永續する事は比較的困難であります。之れが吾々に善良な習慣のつき難い原因であります。勤勉は中々骨の折れることで、充分の忍耐を要します。其故に吾々は決して成功を急がず、靜に永遠に、確實に、規律的に、善良なる目的に向つて、何事でも全心全力に擧げて爲すと云ふ傾を作る事が必要であります。

ナイチンゲール孃の面影

村田　勤

一八五五年の九月十一日セバストポルの堅牢な要塞は落ちて、戰爭の局面は大段落が付いたが、孃はまだ歸り支度をしない。翌年の三月十日巴里和約が締結され、軍人等は雀躍して續々本國に凱旋したが、孃はまだ小ランプを下げてクリミヤの病院に働いて居た。バラク病院は追々空虛になり、片端から閉鎖しかゝつたが、孃は一人でも患者の殘つて居る間は歸國しないと明言した。患者は悉く退院して本國に向つたから、英國政府は態々孃を軍艦で迎へやうといつた時、孃はその厚意を謝したが之に應じなかつた。ロンドンでは孃の歸國の際盛大な歡迎をする計畫であつた。祝砲を打つ、煙火を揚げる、寺々の鐘を鳴らす、各團體から代表者を出迎に出すなど大騷ぎをする筈であつた。孃は夫れを避けやうとして態々歸期を知らせず、コツソリとフランスの船に乘りて歸國し、黑い服に厚いヴエールといふ打扮で八月十五日リー・ホルストの自邸の裏口から入つて來た。ナイチンゲール家に永年奉公して居た老僕が胡亂者と見誤り、顏を見てオヤと魂消たさうである。孃の高潔な精神は實に欽慕に堪へぬ。（家庭）

講壇

日韓人の同化

海老名彈正

日韓人同化の道は一ならずあるが、我々神を信ずる者、殊に基督に依て天の父を信ずる者よりして之を見る時には、其處に基督の御靈の大なる感化ある事を認めねばならぬ。一口に云へば日本人は從來の日本人たる所を超越し、朝鮮人は從來の朝鮮人たる所を超越して、更に新なる性格を出す事に依て遺憾なく同化するのである。神の成し給ふ業には不可思議の事が多いが、殊に精神の發展し行く道程には一しほの妙用がある、例へば利己心が強くて人の事などはかまはぬと云ふものが、己を棄てねばならぬ事情がある、少くとも己を抑さへる所があらねばならぬ。力のあらん限り慾情を擅にするのか必すしも生存の本でない、恣に働くものを制する所に自活の妙處がある。昔より貴い人は欲情を適當に抑制して善良なる精神を奮ひ起す樣にして居る。エヒキユラスの快樂主義なども飲めよ、食へよと云ふのではない、欲を抑さへて理性を增すが眞の快樂であると教へた。更に一步を進めて一家の事に就て見ても、知らず〳〵己を棄つる行が必要である。家族の中には利己主義一偏で出來ない貴いものが現はれて來る。云はゞ一個人以上のものがある。一家を起すには勢ひ他家と競爭せねばならぬが、此競爭に一家の團結をかたむるに至る。子は親の爲に盡し、親は子の爲に盡し、妻は夫の爲、夫は妻の爲に盡し、然うして共に一家を起す貴い愛の精神がおのづから出て來るのである。それが出ないなら、家族は成り立たない。停車場を出る時に宿屋の番頭共が各々勝手々々に客を引く如く、家人が自分の利益のみ計つた日には家族は破滅する。けれど更に一步を進めて町村となると、今迄家族として田地を爭ひ、山を爭つた者が忽ちに團結するやうになる。所謂向三軒兩隣は緩急相救ふに至る。更に進んで一國となると、他の國民と相爭はねばならぬ。外には軍艦を作るとか、

銃砲を作るとか、殺伐の準備に忙しいのであるが、內には町と町、村と村との爭を止めて國民の團結を形作る或人は其殺伐の一面を見て悲觀するのであるが、然かも一面相爭ふて居るときに、相愛する精神が發達しつゝある。基督は神の國は汝等の中にありと仰せられたが、始終冥々の裡に神の國は建設されて行く。家族より一村、町村より國家と、次第に大きくなる途中に、一方には敵愾心が益大きくなりは一方には貴い相愛の情操が湧いて來る。一個人を立つるにも一村を成立たすにも一國を起すにも敵愾心はなければならない。敵愾心は必要である。けれどもそれだけなら何物も存在を全うし得ない。親は子に對し子は親に對して、敵愾心を挾むなら、其家は自滅せざるを得ない。國にも亦如斯。敵愾心ばかりで起つたものなら、其運命は長くない。敵を目的にして奮起したものは敵國外患のある間は善いが、敵國外患が無くなると、內は四分五裂となる。日韓人の同化には專ら相愛の精神を鼓吹せねばならぬ。共通の敵手に對し敵愾心を煽動せねばならぬ時もあらんが、之は變に處するの道にして平常は務めて相愛の精神を修養せねばならぬ。

△兄弟の讓り合ひ

日本人は敵愾心に富んで居る。これは日本の今日ある所以

である。敵國外患ある每に未た當て奮起せざることはない。けれどもそれが全く無くなつた時には非常の禍となる。日本人は世界至る所に於て敵愾心を持つばかりでない、常に內輪喧嘩をする弊習がある。太平洋沿岸に行けば太平洋沿岸にて滿州に往けば滿州にて、露領に入れば露領にて、朝鮮に住めば朝鮮にて、何處に行つても同士喧嘩する憂がある。

敵愾心は我を盛ならしめる。けれども同時に我を亡すものである。これ日本人の超越せねばならぬ性格である。日韓は合併した。けれども相互に從來の敵愾心を旗印として行くならば同化は出來ない。或人は云ふ。朝鮮人に日本魂を吹き込めと。誤つて之を吹き込んだら愈日韓人は同化しない。これは大に考へねばならぬ所である。今日世界の輿論として日本人は同化せぬ民族と云ふ評がある。この同化せぬ根情を朝鮮人間に發揮するなら、却て同化の邪魔物となるのみ。日本に在る支那朝鮮の留學生は何の精神を學ぶかといふと、敵愾心を學ぶのである。日本に來て敵愾心を貰ふ、而して其敵愾心は忽ち日本人に對して、腕をさすつて向はんとする。朝鮮人の如きも元來敵愾心は少くない。布哇に居る朝鮮人、北米に居る朝鮮人、皆悲歌慷慨の人民である。けれどもこれが取りも直さず日本人根生ではないか。日本人が維新の時分は悲歌慷慨したのはそれと變りはない。朝鮮人は暗殺をすると云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それなら日本人はしないか。日本人又其例多い。然るに朝鮮人がそれをなすのを見て、小癪だと云ふて怒るは、是れ果して朝鮮人を同化する所以であらうか。

同化には敬愼心より大なるものが働かなければならぬ。それはイエスキリストに現はれた精神である。即ち汝等惡に敵する勿れと云ふ彼の基督心である。日本人は今にも之を解し得ない。基督は樣々の事情をさし置いて時の猶太人に對し、斷乎として、惡に敵する勿れと云はれた。これ獨り猶太人の福音にあらずして、朝鮮人の福音である。今朝鮮人にして腕をさすつて立たんとするなら、却つて自から亡びるのである。先頃自分が朝鮮に行つた折、朝鮮を起すものは基督山上の垂訓だと云ふたが、彼等は此話を喜んで聞いて呉れた。これ獨り朝鮮人の敎でなく、日本人又大に學ばねばならぬ。さて右の頰を撲つ者に左の頰をも廻して之を撲たしめよとの敎訓には二つの意義がある。即ち弱い方には忍容となり、強い方には寛容となる。朝鮮人が我に向ふ時には日本人は兄として許してやり、日本人が朝鮮人に向ふ時は弟として忍ばねばならない。是れ從來の敎愼心を超越して基督魂に同化することである。

かく互に讓り合ふてこそ同化の道は行はるゝ。日韓人は共に從來の感情を抛つて、基督魂に同化せねばならない、基督魂に同化するは即ち日韓の同化する所以である。

若し此靈的同化の事を輕視して、他に求めんとするは皮相の見のみ合邦になつて朝鮮人はしきりに斷髮すといふ。それは善い事である。けれども日本人と同じ風に斷髮したからとてそれはまだ同化といへない。朝鮮人には到底日本服は適せぬと思ふ。其似合はない衣服を着ても未だ同化とは云はれない。

△干戈を執るも神の子

近頃又祖先崇拜を云ふ者がある。併し朝鮮人に日本の祖先を拜せよとは云へぬ。禮拜は強ゆ可きものでない。彼等に楠公や何かを拜せよと云つても、何の意義もない。怎うしても彼等は彼等の忠臣義士を拜せざるを得ない。けれども如斯思ひ〳〵の者を拜する事が同化する所以であらうか。或者は儒敎を以て同化させやうとして居る。けれども儒敎は世界的ではない。世界的でない儒敎の精神を以て同化させやうとしても、これ亦望む可らざる事である。共に詩を作り、歌を詠む位の事は出來やう。けれども日本の朱子學と彼の朱子學で日韓人の精神を合致させやうとは到底無駄の話である。寧ろ韓人の運命を司り給ふ同一の神を識認する事である。

假令國と國とは干戈を執つて相爭ふことありと雖、神の子

たる靈交の情味は絕ゑないといふ世界がある。それは今日多くのクリスチャンの實驗する所である。これなくんば世界は大亂である。大げさの群雄割據は忽ちに現はれる。幸にしてかゝる極端に走らざるものは列國の競爭と云ふ以外に尊き靈能がその裡面に疏通しつゝあるからである。故に日韓の同化に就ても唯一つの神を仰ぐと云ふ許りでなく、基督に依て示されたる愛の神を認めて、相互に靈交の情味を深うし、天の父の全きが如く全くなる可しと云ふ信念に立つて、初めて完全なる融合が出來る事と信ずる。此精神の外日韓人を同化する道はない。聞く所に依れば臺灣などでも內地人と土人とを同化させうとする時一番先に親しくなるのは彼地のクリスチャンと同地のクリスチャンである。會食もよい。娛樂もよい。けれども根底の靈能が無いならば、眞の同化は望まれない。一軒の家に就て見ても、夫は八幡樣を信仰し、妻は稻荷さんを拜むと云ふ樣な事では和合する筈はない。眞の信仰の無き者の同化は實に危い。日本人の缺點は無神論主義である。議論の上にも神無く、實行の上にも神無く、唯各々勝手の事をして居る。恁う云ふ樣な事で恁うして朝鮮人を同化さすることができやうか。日本人自からの覺醒を要する。神は日本人に宿る如く、朝鮮人にも宿つて居り給ふ實相を自覺せねばならない。日韓人を打ちて一團とする恩愛の靈能を尊崇するを要する。

△國は一藩

日本人も五十年前には日本帝國と云ふ考は少なかつた。國と云へば藩の事であつた。然るに今は朝鮮迄を合せると云ふ何たる幸であらうか。藩と藩との敵愾心は今日から見れば兒戲に外ならない。同樣に日韓合併の今日に腕を扼して朝鮮に向ふと云ふ樣な考は笑ふ可きものである。西南の役には東北あたりから志願して薩摩に報いたものもあつたと云ふ。それは明治十年の事であるから未だ容赦もできるが、四十三年の今日に至つても猶そう云ふ復讐の考があるとは以ての外のことである如斯人は自ら穴に入ると同じである。日韓合併に就ては我々は韓人をして早く天地を開くやうに骨折らねばならぬ。今にも薩長を恨む樣な人々は天下の役に立つものでない大勢は進むに利あつて退くに失ふ。幸と不幸とは唯此機に乘ずると否とにある。我々は日韓の上に現はれたる偉大なる攝理を空うしてはならぬ。ここに顧みずして、唯々敵愾心を鼓吹する如きは事を過るもの人の子を傷ふもの日韓將來の發展を妨碍するものである。神はそれを許し給はぬ。

△煙むたがる

前には國家を神の國の妨げと見たものもある。けれども國

家は神の國を建設するに大切なる道程である。國と國とは次第に近いて家族的團體たらんとしつゝある。未だ容易に實現するには至らぬが、かゝる機運に向ひつて居るは疑ひない。豫言をする様だが、あり〱とその風光が忍ばれる。恁う云ふと夢として笑ふ人もあらう。けれども世界は方に大目的に向つて進行しつゝある之に比すれば日韓合併は小事と雖も、正しく之に近つく一小驛である。これは政治上より云ふのではない。神の國の發展より觀たる識見である。日韓合併は世界的家族の一端を現ずるものである。我々クリスチャンは此際に當つて自ら指導者を以て大に任せねばならぬ。日本人の多くは未だ基督を知らぬ。從つて我々は煙たがられて居る。我々の主張はいやがれる。けれども吾々は我同胞の敎化を期して奮鬪せねばならぬ。千古未聞の日韓合併は獨り政治上の事として觀るべからず、日韓人の靈的同化にあるを忘るべからず、此靈的同化は更に一歩を大陸に進むる道程あるを忘るべからず、神の國は日本帝國の裡面に發展し、又之を以てその發展の機關となす。日韓人の同化は遠大の意義を有す、日韓のクリスチャンは大に自覺する所なくしてよからうか。

子女教育に對する母の（其十）

△老人に對する同情

海志名みや子

世に年寄子供と申まして老人と子供とが、家庭の花として、飾として取扱かはれて居ると云ふ事は、我國獨得の美風であると考へます。古の歌人も『子にます寶世にあらめやも』と歌ひましたが、これは西洋でもそれと同じことを申様です、が老人を尊敬して恰も家の飾の様に重寶するといふ風は、歐米には一寸見られない美風であらうと考へます。處が、近頃親子別居論や何かゞ私共の頭腦を往來する様になりまして、少し氣概のある親は、親の方からも子の厄介にならうとは思ひませんし致しますから、自ら子の方からも兩親の世話をするといふ氣が薄らきはしないかと思はれます。又昔封建時代

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に米の價を知らずに濟んだ時は、一家に幾人ごろ〳〵遊んで居ても、さして痛痒を感せなかつたのですが、近頃生活難が盛んに責めて參りまして、一人の生活費は容易なことでなくなりましたので、一番先に其難の及ぶ處は、先づ世を離れた隱居の身ではありますまいか。これらの事に付ては他日意見を述べて皆さんの御參考に供して見度と思つてをりますが、兎も角老人を大切にする風は我獨得の美風であつて是非この風は永久に保ち度ものだと思ひます。就ては幼年時代に深く其氣風を養ひ習慣をつけて置く事は最大切であると思ひます。私共道を步行いて居りまして廿歲も過ぎた青年が、擊劍やベースボールに鍊へた頑丈の手もて、其老母をいたはりつゝ行くのを見ましては、誰しも其しをらしさにほろりとしたなくります。

斯んな事は何でもない行爲で、自身の祖父母や老父母をいたはるに、何の不思議もない事ですが、老人は兎角見過しにされ勝ちでありますから、ちとの優しい行爲が、人の眼につくのであります。チヨツト電車の乘り降りにも、老人を見ては助け勞はり、席を讓るなど、其所ながらも嬉敷感じます。其人の心根が忍ばれて、限りなきゆかしさを覺へるではありませぬか。生れ附にも依る事ですが、全く家庭の風と幼年時代の教育によることであらうと思ひます。

私は、內に老人が居ませぬのは、子供等の爲に何の位不幸であるかと、常に思ふてあります。まだいゝ、しやん〳〵とあるける母親に對して、手を添へ度といふ氣も起らす、又齒がないのに、きざんだお香の物もほしくなし、何も殊更に子供の世話を受けることがありませぬから、子供等も老人に優しくするとは

どうすればよいのか、分らない事であらうと思ひます。私の子供の時には老祖母がありまして、私は母の懐より祖母の懐の方がなづかしい位でありましたから、よくあまつたれもしましたが、又よく老人の世話も致しました。實際に出來たか出來ぬか分りませぬが、少くとも其心は持て居たのであります。たとへばチョット外へ出かけるにも老人の手を引く、傘をさしかける、道路の悪い處は自分で歩行いてよい處をあるかせるといふ樣に老人に同情をもてば、自らそれから〳〵と子供ながらも優しい行爲は湧いて來るものです。女中のお香の物の切樣があらいと思へば、手づから心をこめて細かに刻ざんで膳に供し、其喜ばれるのが何より嬉しいのです。こんなことは樂しみ半分に致しますが、折〳〵肩や腰を叩いたり、もんだりさすられるのはいやであつた樣です。けれどもこれは年寄には何よりのいたはりで、又病氣の時などは是非致さねばならない事でありますから、幼年の頃より、少しづゝ慣らして置かねばなりませぬ。この樣に内に老人がありますと樣々の機會に於て、樣々の方法を以て、老人に仕へることを教へられますが、老人のない内の子供は、能く注意して教育致しませぬと、老人に對しておもひやりがなく自然其行爲が冷やかで、老人には耐へ難く感じられることがあります。早や十八九にもなりまして、倫理や家政學のお講義で舅姑にはかく仕ふべきものぞ、老人は尊敬せよなどゝ聞されましても只頭腦の一偶に止まつてるのみで、其人の手足に、其人の動作に、顯われると云ふことは六ケしいと思ひます。楓の樣な手を以て老人の肩を叩き、又實際は老人に手を引かれてるのでしやうけれども、自分は一かど老人の杖の代りを勤めてる積りで、小さき心の全部を老人に注ぐ樣な習慣は、幼年時代につけ置くべきことだと思ひます。老人のある家庭では先づ自ら老人に優しくまめやかの仕へて然る後子女等に老人に對する道を教へねばなりませぬ。只お講釋では何の益にも立ちませぬ。一家にこんな美しい氣が滿ちてをりましたらば、老人等は冬枯れの淋しさを忘れられることであらうと思ひます。

△召使への同情

はしたなく召使を罵つたり、又女中の悪口をお友達に話したりする子供を見ると、何んだか其子の性質が察つしられ、又其家庭がうかゞはれる樣です。ヤレ足がよごれたから足を拭てお呉れ、硯の水を持て來い、靴の掃除をといふ樣に、何の容赦もなく召使を使ふのは、子供の爲に非常な害があると思ひます。お氣をおつけになる御家庭では無論そんなことはありませぬが、あるお家庭では何から何迄、女中の手をかるといふ風で、ほんの孃樣お坊ちやまで何一つ手づからさせない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

といふことが却て自慢の様にしていらつしやる様に思ます。あれでは成長の後どんなにおなりであらうと案じられる様です。召使も、我家族の一員と心得て、寒い時は寒からう、暑い時は暑からうと、其折々に充分の注意と同情とを加へますと、同じつらい炊事も、張合があつて、面白く働けますし、主従の間に云ひ知れぬ溫情を感ずるものであります。如何に子供でも餘り無慈悲な言をいつたりしたり致しますと情なく感ずるであらうと思ひます。三度々々の食事の時でも、無駄にお茶わんやお皿を汚す様なことを仕ませんで、少しでも女中の勞を省く様にと心がけ、又病氣でもしました時は、食事の世話や藥の湯なぞも子供の手で致させたり、始終心をかける様に仕つけますと成長して一家の主人となり主婦となりました時、其恩愛下〱まで及びまして、一家は春の長閑さを感じます。只に一家に止りませぬ。とりも直さず博愛衆に及ぼすの蹈み出しでありまして心の及ぶ限り、力の能ふ限り、どこ〱迄も此心を擴げて行く事が出來ます。故に幼年時代召使に對してよく此の同情心を養ひ、又實行の習慣をつけて置きますのは大切なことであると考へます。

△動物に對する同情

夏の日盛りに、あはれ我生命もこゝ數日と、心忙しげにミーン〱ゼー〱と鳴きたてた蟬の聲もいつしか絶えまして、秋もやゝ更けた今日此頃、すがれ行く蟲の聲々も、一しほあはれに聞かれるのであります。蟻も冬籠の仕度にとりかゝりてか、小さき體を忙しさうに働かして運搬を致して居ります。道路の彼方より此方に此木より彼木に廣々と己が領分を定め、精巧なる網をはつて眞中に十の足を廣げて濟し込んだる蛛の御大將、若し過つて其領分に足ふみ入るゝ蟲あれば、それ逃すなとたくはへの糸もてくる〱と卷きあげる其早業、しかして悠々其獲ものをかゝへて己が巢にかゝれる得意の姿、小面憎くも亦滑稽なものではありませぬか。毛蟲よ芋蟲よと人に嫌がられる蟲すら、一度蝶と化しましては其美はしい可愛に姿は宇宙の飾ともてはやされます。夕方薄つ暗い庭のすみに石の間からのそ〱と出て來まして、人の眼の前に斜に構へた蛙を見ましては、手水鉢の水一杓其面にかけてからかつてやり度氣持が致します。動物の中で最も下等の蟲けらですら夫れ〱特性を供へてをりまして誠に面白いものであります。少し上つて鳥類になりましては幾層倍蟲に勝つた興味を人間に與へるものでありましやう。況や犬猫牛馬の如き家畜に至りましては彼ら自身も家族の一員の様に心得て馴れなじむ有様實に可愛いものだと思ひます。私は子供の時から凡ての動物に、無限の同情と興味を持づて居りまして、蟬やと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んぼやバッタを取つて、殘酷にすることは大嫌ひで捕へたら直ぐにがして、自由自在に大空を飛び廻ぐるのを見るのは無量の愉快であります。子供の時道路にあはれな病犬やのら犬が掃きだめをあさつて居るのを見ますとそれがあはれで其晩寢つかれないことが屢々ありました。これは私の衷情の願でありますが、凡て宇宙に充ち滿てる生とし生けるものが各々其分を守り其所を得まして、心よく人類と共に棲息する樣に致したいものです。人間は其長として相當に勞はり保護してやり度ものです。動物保護會などゝいふ會すら世にありますのを見ますれば、隨分殘酷に取扱つて居るものと思はれます。素より害を加へるものは除かねばなりませぬが、所謂無益な殺生は決してすべきことではありませぬ。この點は幼年時代に能く〳〵敎へて置き度と思ひます。終りに左の一節私は年若い比より讀毎に云ひ知れぬ快味を覺ゆるイザヤ書十一章共に味つて戴き度と思ひます。

おほかみは小羊としもにやどり、豹は小山羊としもにふし、犢は肥たる家畜ともに居りてちひさき童子にみちびかれ、牝牛と熊とはくひものを同にし、熊の子と牛の子とゝもにふし、獅は牛の如く藁をくらひ、乳兒は毒蛇のほらにたはむれ、乳離れの兒は手をまむしの穴にいれん。斯てわが聖山のいづこにても害ふことなく傷ることなからん。

スミス大學と校長シーレー博士

形影生

スミス大學とは北米マサチユセッツ州ノーサブトン市にある有名なる一大女學校である。米國に於る女子敎育の事業に興味を有する者には、既に能く知られては居るが、女子高等師範の井口敎授も暫らく學ばれたこともあるさうだし、今年は又牧師二宮邦次郎氏の令嬢が日本人として最初の卒業生たる榮譽は擔はれたを機會に、少しく同校に就て書て見やうと思ふ。

同校は今を距ること三十九年前、特志家ソフアイア、スミス嬢の遺言によりて設立せられたものである。今日でこそ二千四百人を容るゝ所の講堂や、三十五萬圓を投じて近き頃漸く其工を竣へた圖書館を初めとし、大學館、シーレー紀念館、理學館、化學館、美術飾、音樂館、觀象臺、體操室其他三四の建建物と、十八棟の寄宿舍、保養所及び病院等を備へ、職員として八百十二名の敎師と十名の事務員とを有し、生徒の如きは無慮一千六百三十五名を算しては居るが、其創立當時を回想して見ると、建物一棟、敎師五名、生徒十二名と云ふ

有様で、他の多くの場合と同じく頗る微々たるものであつた。而して其今日の盛大を見るに至らしめたる中心的人物は、過去三十七年の久しき校長として心血を注がれたるシーレー博士其人である。博士は元と會衆派の牧師として生涯を初め、續いてアマスト大學の修辭學及び英文學の敎授となり、令名甚だ高き人であつたが、一千八百七十一年九月最初の校長として招聘を受けたのである。然るに當時大學の基本金としては僅に三四十萬弗を有するのみであつたから、同博士は斯計りの金額では到底設立者の希望通りの計劃を實行するの不可能なるを見、其聘に應じなかつたが、二年の後、總ての金員を基本金に充て、必要なる校舍は之が利息をもて建築し得る時を待つ可きことを條件として遂に理事會の懇情に應ずることになつた。斯くて實際大學の開校して生徒を入るゝことになつたのは、一千七百七十五年則ちスミス女史の死後五年を經て後のことであつた。

シーレー校長は最初よりスミス大學を普通男子の大學と同一の程度のものとなすの方針を取つた。斯く一方に於ては學課の程度を高くすると共に、他の何物よりも婦德に重きを置き、隨つて不斷口にせし所はスミス大學生の Intelligent gentle women たらん事である。彼が理想とせし所は善良なる妻や母を養成することで、家庭を離れて彼等を敎育せんとするが如きは博士の取らざる所である。それ故に彼は學生々活に出來得るだけ家庭的分子を加ふることを力め、寄宿舍の「寮母」の人選には特別なる注意を拂つて居る。其寄宿舍に他の諸大學の大寄宿舍に絕ねて見ることの出來ない靄々たる春風の常に通ふて居るのは、蓋し自然の結果と云つても可い。唯惜むらくは構內今や漸く狹隘を告げ、構內の寄宿舍には僅に學生の半數を容れ得るのみで、他は委く附近の此處彼處に建てられてある寄宿舍に起臥しなければならぬ事である。但し何れの學生も少くとも一ヶ年以上構內に居住し得る事となつて居る。

此等の外博士が學校の主義として大に重きを置て居るのは、聖書硏究及び宗敎的敎養である。スミス大學は固より何れの敎派にも屬して居ない。凡そ敎派や信條を異にせる數多の學生に聖書を敎ふるとは何人に取りても決して容易の業ではない。然るにシーレー博士は此點に於ても亦顯著なる實蹟を擧げたのである。彼は一方に於て文學的、批評的方面より聖書を講ずると同時に、宗敎の緊要ならざる部分を喋々することなくして、其眞髓を示し、一同に深玄なる宗敎的感化を與へしこと甚だ多い。予は過る日同大學を訪ひ朝ごとの禮拜に列したが敎師學生の悉く着席し終ると間もなく、博士は徐に學生等の間を步み來りて壇上に昇り、先づ敎師に向ひ、次に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學生の方に向き直りて頗る叮嚀な日本式の禮をなし、靜かに設けの席に就かれた。此時予は其敬虔な、高潔溫雅な老聖徒的君子の風采に打たれ、自ら肅然として襟を正うすせざるを得なかつた。スミス大學々生が他の或學生等とは異なり、皆競うて毎朝の禮拜に列りつゝある所以は、主として此偉大なる人格の感化によると云つても不可はあるまい。

斯る次第であるから其學生間に於る勢力は非常なものである。彼卒業生等が幾年〳〵引續き「ガオン」を着用せんことを決議せしにも拘らず、博士が切りに純潔と婦德を代表せる白色の「ガーブ」を用ひんことを求め、今日に於ては博士が此問題に對する見地を十分に了解し得ざる者と雖も、斷えて之に就き票決せんとする事さへなきに至つた一事の如き、偶之が一證さるに過ぎないのである。

博士今や在職滿三十七年に達し、今秋を以て職を退くことになつて居る。其間彼が薫陶を受けて業を卒へた者が四千五百四十七人の多きに上つて居る。此等多數の卒業生が、或は家庭の人として或は敎師として、或は著述家として、其他種々なる方面に其習得せし所を發揮しつゝあるを思はゞ、何人か彼が世界の文明と人類の福祉に貢献する所大なるを疑ふであらう。

本年六月擧行せられた卒業式は博士在職中に於ける最終のもので、特殊の意義を有して居つた。さらば卒業生の遠きより近きより來り會する者、二千名の多きに上り、數日に亘れる諸集會の如きは、何れも未曾有の盛況を呈したのである。卒業式其他に關し記載す可き價値ある事も少くはないが、今は唯單にスミス大學と校長シーレー博士を紹介するのみに止めて置く。

愛の神秘

口村信郎

苟も至聖至愛なる至上の神を信ずる人であるならば、其愛は必ずや純潔にして不變でなくてはならない。愛とはまことの心と心と相一致したものである、愛は常に時間外に超越して居るべき性質のものであつて、そが時間的に味はるゝは愛の形式が時間といふものに顯はれ來りて部分的の愛となつたものに過ぎぬ。かくいへばこはあまりに抽象的の眞理を何だか理屈ぽくいひなせるに非ずやなどの譏はあらうけれど、吾人がこゝには特にクリスチアンとして眞面目に考察して見たいとの希望より聊論理めきたるにて亦已むを得ざる所以、請ひねがはくは暫く吾人の主張するところに耳を藉し給はむことを。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある詩人は歌ふらく「林檎のいつ何處にて紅らみにしか汝がすがたのうるはしく色つやのまさりて、ことに愛でらるゝ」と、さなり、林檎の紅らみ來るは必然の理法を辿りける自然の力とやいはむ。さりながらかくいふ理法とやらもそこにまた隱れて見えざる無形の秘密存して之を到底言語に繰つることの叶はないものである。おなじく人の心に宿りて現はるゝ愛てふものこそいとも不思議なることよ、敬愛する婦人諸子、彼の冷靜なる哲理を究むる哲學者等にも愛てふものは普通世間にあらはれぬる人愛のそれよりも、その愛の本質に就て仔細に尋ぬれば、彼等の愛にもいと濃厚なるものゝあることを忘れてはならぬ、哲學といふそれ自身も眞理を戀するといふことの學問とぞ唱へらるゝものを、なか〳〵に一生をそれがためには、妻をも娶らずしてその無形の眞理を我妻として之を愛すること何物にも、まされるにあらずや、げに奇しき愛の力、我等小身弱輩の取るにも足らざるものなりともそこにはあらはし難き神秘はあり、まことに愛こそは自然なり、奇跡なり亡びゆく斯世、かばり易き時間にかゝはりなくして、愛のみは渝はりなく滅せず死せず而も天地を掩ひ包み盡して一切處に普し、愛ありて天地生き無生物さへそこにいふべからざる有意味の教訓伏在し、趣味律々となる愛ありて我等を教へ導き護り安らけく眠ることを得るのである。奇しくや有難や我等は無始以來この秘密を自然に神より賦與せられて、之をば物の汚垢滓渣を除去するが如く本眞の光澤を發輝することそ天職なれ。

愛の本質かくのごとく愛の中には何物もそこに雜ゆべからず愛は卽ち愛で愛するのは眞に愛することである。まことの愛は愛せらるゝを待つべき性質のものでは無くしてまづ我より之を愛するに限る、そこで神に愛せられむとならば、又そをよりよく知らむとならば、先づ第一に神を愛せずばその愛は知り得ないのである。神は人より愛せらるゝことを目的として愛し給はぬ神先づ我等人類を愛し給ふたとある。神の愛は自動的に其出立點を根ざして何物をも人より要求め給はぬ犧牲の愛である。神より愛せられ神を愛する信者亦斯の如し、人と人とに於ける愛に至りても愛はまづ我から人を愛して掛らねばならぬ、さるを、なべての人はこれが反對に働いて居るから斯世にはまこと神の愛に肖たる愛が無い、それを發見することは金剛石や眞銖よりもモット至難しい、シエクスピアであつたかと思ふが「あゝ此世の中に神のごときすこしの愛でも人間界にあつたなら、そこには決して惡てふものはないのだ、平和忽ち得られんとこしへの歡樂世に滿たむ、オゝそのときそのさまのいかにたのしからむよ」と歎美しつゝも、世の無常のさま人の心のつれなく冷めたきを暗々裡に喞つて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

居るので無いか、我等も亦詩人と共に斯世に對して泣き、歎美するものである。我等をしてすべてを傾け盡してその生命をさへ惜まざる愛、危險を恐れず時と場合によりて毫末も之を辭せざるの勇氣あらしめよ。主基督は愛の美はしく純潔なるを歎美なし給ふて曰く、人友のために捐つる之より大なる愛はなしと。詐りなく飾りなき愛、報酬を望まざる愛、雜情を交へざる愛かくして初めて眞の愛たるべきである。渾身不易不變の愛を以て、世擧つて怯ぢまどへる時殺伐血醒さき十字架上の基督の脚下にひれ伏して心をかぎり抱きて接吻しつるマリヤ姫は、朝な夕な主に仕事して親しく其敎訓眞理を聽いた彼の十二弟子よりも愛に於て永久不滅なる光りを照し出してをる。

さらば我等をして私なき心の愛を以て神を愛し、又諸ての人を愛するものとならしめよ、愛は卽ち愛なりてふ此單純で內容の充實した高潔なる思想の籠れる愛をば廣く長く豐富に味ひたいものである。誰れやらが「戀しやと思ふ心は我ならず母の心の通ひくるなり」といひしやうに、神ぞ戀しなつかしと仰ぐ心の愛は、たとへ憧憬し心醉するやうにあつても神にむかへる愛と自然に根ざせるやさしき愛には世の汚れを含まぬ。是れぞクリスチアンラブだと我等は飽迄主張する、男女間の愛であつても神より祝福され聖化せられた愛であつたなら、世にこれほど貴く美はしい愛がまたと他にあらうかよしや一刹那の夢のやうな戀路と世の人が笑ふやうな運命であつても淸き夢の光は永久に消えないであらふ。乙女が愛は彼につれなくとも、ダンテの愛は淸く且つ熱い。詩人の自由なる靈魂は主觀に結ばれて離つべくもあらず、客觀に死し肉に失はるゝも、比類なき夢ならぬ愛の光り輝いて居るでは無いか。ソロモン歌うて曰く、

エルサレムの女子等よわれは黑けれどもなほ美はし、ケダルの天幕のごとくまたソロモンの帷帳(とばり)に似たり、われ色くろきが故に日のわれを燒きたろが故に我を視るなかれ。

我ふかく喜びてその蔭にすわれり、その實はわが口に甘かりき、彼われをたづさへて酒宴(さかもり)の室にいれたまへり その我上にひろがへしたろ旗は愛なりき。

右に歌へる愛の歌もまたダンテが味ひける主觀的理想の愛と此詩人が味ふた個中の消息と、命脈が繫つて居ることゝ思はれる。いづれも愛の眞相に深くわけ入りて高潔に味うたものであるから、そこに萬代不朽の歌となるので、誰れが之を讀むも心をくるゝことなく、とりわけて宗敎詩人(クリスチヤンポエット)は愛を遠くに眺めて而も自身には至つて亂れず淫せず動かぬはそこに神が儼然在まし給ふからである。猥りに愛を恍惚の域にのみ味へる狂詩人はいざ知らず、吾人が神の愛に勵まされ、基督の生ける人格と關係せる愛ならむには、男女相互の青春の愛なりとも、そは眼醒めたる莊嚴に飾られたる人格上の一種いふ

べからざる無上の尊敬の念となるのである。プラトーの觀念美としてあらはせるイデアの愛はそれであらう、まことに神を畏るゝ人の戀愛は高潔仰ぐべきものである、ジォールジエリオット女史は恐らく我等が尊敬すべき理想的愛の權化者であらう。女史男性の戀愛を歎美して曰へらく、

青年が婦人に與へむとするアドレーションは彼れ自身よりも偉大也、こは宗教的感情と殿に立てるもので之れ恐らく愛と美とを生命としつる婦人も、無邪氣にして愛らしき小兒も美術も音樂も、よもやかくまではあらざらむ、青年が愛はいかに深く貴きものなるよ、鋭き刹那の熱烈なる愛情はあらはに、いと沈默に過ぎゆき高き血潮のうらめくや淡く現象を超ね身も心も神々しくなりて、やがて神秘の領域にかけ入りつゝ、げにも青春が愛の美しさは、天才者が思想の深邃よりも遙かに、やさしき一婦人の靈を導きゆく、これぞまこと我に近づき來れる天に在ます全能者の愛と視ね、はたまた全能の神茲處に在して面前物語り給ふ聲と感じぬ、あゝこのいとも高貴なる愛は人にして人ならぬ人以上の神のあらはれ美神のすがた妙へに美はしきの極みなる。

エリオット女史は唯男性が女性に顯はす戀愛の美をいつたけれど、若し仔細に彼女の心理現象を探ぬれば恐らく之れ女史自身の胸に秘めつゝわつた追懷の情の一節と思はるゝのである。吾々基督に聯れる者の愛情に於て、願はくばエリオット女史のごとき神々しき愛の歌を讃ねたきものである。

愛は勝利者宇宙人生の一大秘密之を完全圓滿に味ひ樂む人は神の子たる本性、人生の最大目的茲に至つて始めて完成す、神は愛也と云ふ、こは神の本性をこの一言に總括して簡單明瞭何人もこれ信じ易き天の父なる性質として受容るゝ我等人格の花である。然り神すらも愛を以て存じ愛を其全體と顯はし給ふ、人生は所詮この愛を美しき諸々の花と咲出たる樂園に外ならぬ、天國といひ神の國といひ永生といひ十字架も復活も昇天も聖靈もすべて愛の生命の顯現なりと謂ふべしである。

有珠の噴火を見る

野の人

虻田まで

八月十二日朝六時半函館發列車の二等室に乘込んだ三人づれの客は、少からず車中の注意をひいた。制服制帽の若い學生を中に置いて、頭の禿げた細面の柔和相なロシア人と、背廣の夏服の上に外套を着けた青年敎師とは、地圖を指しながら物語つてゐた。異樣な露語の發音と　外人と打解けて談話するといふことが、隅々迄の視線を此三人に集めたのである。露人は西伯利亞ニコリスク女子師範の敎諭タラス、ペトロウイッチ　ゴルデイエフ君で、青年敎師といふのは私である。露國領事館から私の學校に、此人が有珠の噴火を見たいと云

ふからと交渉して來たので、私が昨日突然同行の命を受けたのである。それで露語部の生徒を一人つれて今朝出發するとになつた。

一週間前から險惡な天候つゞきで、昨夜來は特更にそれが激しい。然し思切つて起つて見ると、足も輕い、氣も勇む。八時半に噴火港岸の森驛で下車して、其處から百噸餘の小汽船に乘つて九時に出帆した、室蘭迄僅に二十四哩の航海も私が未だ曾て經驗したことのない慘憺たるものであつた。兎もかくも一時間遲れて午後一時前に室蘭へ着いて、間もなく出帆して噴火灣の東北にある西紋別から虻田へゆく。西紋別は有珠岳の東南麓にあり、虻田はその西麓の部落である。有珠岳を右手に見て航海して午後五時に無事虻田に上陸した。此日は霧の爲に有珠の項は見えなかつた。

旅舍の一夜

虻田は此附近の最繁華な部落で戸數千三百坪許。一筋の細長い町も唯一軒の宿屋を持つてゐる。それでも相應に奇麗であつた。座敷に通つて最初に目についたのは壁の破損であゐ之は前月二十四五兩日の强震の結果である、此他に土藏の壁の落ち處もあつた位で、町の人は皆一時戸を釘付にして西の方二里程の辨邊に避難したと宿の主人が説明してくれた。二十七日以後は鳴動も弱つて來たので段々と歸宅するものが出來て、今は誰も普通の樣に業務を營んでゐる。

ゴルディエフ君は函館からパンを澤山鞄に入れて來てゐる食事前にそれを出して食つた。鷄卵を茹でさして尖つた處をコツ〳〵と突き破つて穴をあけて食鹽を入れて、匙で中身を抉ぐり出しては食べた。食事はゴルディエフ君も和食を平氣で食べた。露人は日本の習慣に馴れ易いのかも知れない。同君は嫌に濟し込だ處がないかつ氣持が好い。そして至極眞面目で酒も飲まず煙草も吸はぬ。必と信仰のある人だらうと思つてゆかしかつた。

食事が濟むと明日の日程を定めて置きたいと思つたが、私共三人では此邊の事情が解らなかいら、歸省中の生徒を呼んだ。すると早い卒業生だといふのと二人で來てくれたので大變に便利であつた。私は旅行先で學校の生徒に逢ふのが非常に愉快である。誰しも左樣であらうが、此樣な時には特更に嬉しい。

九時過に枕を並べて床に就いた。浪の音の間に雨涎の落つるのが聞ゐる。明日は晴れてくれゝば好いと思ひながら又自分はロシア人と斯うして海に近い田舍町の旅舍の二階に寢てゐることを考へた。すると、我心が或る圍から放たれた樣な自分のヒユーマニテーが非常に擴がつたやうな愉快を感じた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。國境もない風俗習慣の別もない、直に天地の子である、同胞である。此人も矢張り眞面目な基督教者であらう露語が私に自由であつたら、手を握つて神のことも語り祈禱もしてみ樣ものを、自由だの自然だの、又はロシアの名ある文學者の話だの仕てみやうものを！と思つた。が、斯うして沈默の中に滿足してゐるのも亦面白い。

湖畔へ

明れば十三日である。朝の八時過に一人の人夫に荷物を擔はして出發した。函館の署長から此處の駐在所宛の展書を貰つて來たので、警官が一人同行することになつた。灰をかぶつた豆畑の間の小い坂道を小一里も登ると、ノツトコと云ふ峠に達する。峠といつても此附近一面の豆畑で展望を妨ぐるものはない。人家は途中に一二軒見かけた丈である。前には沈んで行くやうな洞爺湖の水がある。右には一千九百六十四尺の有珠岳が手の屆き相な處に在る。此山は二重火山で、屛風山と呼んで居る外輪山の向に火口丘の小臼岳がポツチリと頭を出してゐる。外輪山の洞爺湖の側を北屛風山と云つて居るが、其裾の湖畔に盡きんとする處に蒲鉾なりの小丘で、丸山とよぶのがある、其處から少し山に近い地點を中心として今盛に黑白の煙が立ち昇る。之が卽ち新火口であつて其數大小二十六あると云ふが、實際噴煙の盛なのは四個程に過ぎぬ。アノ丸山にも二個の火口があつて一時は非常に猛烈で夥しい泥流を噴き出したけれど、最早鎭靜に歸したと警官が說明してくれる。成る程泥田のやうに見ゐるのが泥流の跡である。西紋別の或る宿屋の主人は湖畔を横ぎらうとして此泥流に流されて燒死したとの話である、幅が百間餘もあつて最も厚い部分が一丈。大森博士の實測によると其速力一時間に二十五哩を行く割で熱度も百度以上であつたと云ふ。驚くべきものである。一番近い火口は麓の無名山の南もあるので第二次の噴火に生じたのだが、尙其山の上に最初に出來て今は靜まつてゐるのが一個ある。火口の附近の林は何れも枝折れ葉落ちて宛然荒凉たる冬木立である。

左手の山の霧たちこめた樣なのは、折しもの東風に噴出した灰が私共の頭上を掠めて飛ぶのである。近來は每日の東風で此附近の大豆は黑い灰に埋められ、處々白い花がコツソリ顏を出してるのは可憐である。立つてゐると頭上からバラ〳〵と灰が降りかゝる、硫氣を含んだ異臭が鼻をつく。時計を出して見ると最早大分銀側が黑くなつてゐる。

此處で最も私共の興味を引いたのは、丸山の脇の盛に立ち昇る煙の、分秒にも千變萬化する中から、時々姿を現す高さ四十間程の見事な富士型の小山である。警官の話によると、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昨夕迄は嘗て見受けないもので、必ず昨夜の中に出來上つたものに相違ない、古の傳說に富士が一夜にして生じたとあるのを思合せて面白く感じたのである。警官は直に室蘭の本署に此旨を打電したので翌々日の北海道の新聞は珍らし相に大抵之を記載してある。火山の活動の激しい時分には何樣の變化が生ずるか豫期し難いものである。此處から湖畔へ坂を下ると三軒の百姓家があつた。中の一軒にパン其他視察に不必要な品を預けて輕裝して下つた。此家には警戒の警官數名が詰めてゐて、之から先は普通人の通行を禁じてゐる。私共は特別に便宜を與へて貰つて其上に危險區域だから三名の警官が同行することになつた。

湖畔へ下る道は、道といふ程のものでもない上に　昨夜の雨で寸餘の降灰が粘土と變じて、步行の困難は容易ではなかつた。油斷すると直に谷底に辷り込んで了ふ。

琴平市街地

下り終ると湖畔の道に出る、幅二間位の平道で湖水の緣を一週してゐるのである。東へ東へとゆく、私は人の足跡を拾つて步いたが、夫でも草鞋は粘土が附着して大蝦蟇の樣になつたのをゴルデエフ君が可笑しいと笑ふ。

洞爺湖は絕勝だ。足の下からザブ〳〵と小波がさゝやく。岸に並ぶ樺等の木の間から湖上を眺めると一步每に景が變る中の島は海拔千尺の山として同く三百尺の湖面につッ立つてゐる。紅葉の美しさ等が思ひやられる。「湖畔」といふ名が既に趣味深い。何時迄もいつ迄も此道を步いてゐたい樣な氣がする。半道程ゆくと從是東南象頭山琴平市街地と記した標柱の立つてゐる處に達する。讃岐の人の移住地故此名があるので、市街地と云つても未だ戶數は五六軒しかない。街路の兩側處々の散らばつてゐるが、此地は此度最も多く被害があつたのである。降灰の厚さが三寸にも達して、大豆畑は殆ご其面影もない。麥は熟し過て

赤く腐り相になつて其儘である。或處では二三人の百姓が刈り取つてゐたが、同所に警官に注意された。街路には大な龜裂がある。幅は私の携へた洋傘が差し渡された程である。家には大抵疊も家財も運び去られて潰れ家も一軒あつた。恰も戰に荒された村のやうな感があるが或家の庭に赤い葵の花が黑い灰を蒙りながら咲いてゐるのはいぢらしかつた。最初の火口のある無名山の眞下に琴平社がある。其屋根は降下の石塊に破られて蜂の巣其儘である。中はガランとして只處々に安山岩の石塊が飛び散つてゐる。大いのは床板をも穿つてゐる。爆發當時の慘狀が目に見る樣だ。此處からゝ奥に入るのは警官も危險を慮つて見合せた方が好いと云つたけれど　ゴルディエフ君が承知せぬので、思切つて泥流の流れた處へ行つて見た。最早旱魃の田のやうに固つてゐる。流を段々溯つてゆくと次第に狹くなつて兩方の崖が一丈餘もある堀割のやうな處に達した。之は泥流が非常な勢を以て穿つて流れた跡である。若し此處へ不意に泥流が全速力で流出して來たらとの恐怖が誰もの胸に充ちたから、私共の足は自然と進まなくなつて了つた。

仰いで彼方の大噴煙を望むと今更に自然の威力の偉大なるが思はれる絕ねずゴーッと響く鳴動の間から黑白の煙りが立ち昇るかと思ふとがら〳〵〳〵ッと怖しい音がする。烟に蔽はれて目には見ねぬが噴き上げた石塊の落下するのである。此附近、石塊に打たれ灰に壓せられて枝は折れ葉は飛び、林と云ふ林は殆ど電柱を並べ立てた樣である。私は嘗て箱根の大地獄を見て一種の鬼氣に襲はれたが、此處も宛然地獄である、ノットコで感じたよりも更に強い臭氣更に繁き降灰、白い煙は水蒸氣であるが、黑いのは皆灰である。高く噴き上げられたのが、糸の樣に夕立の樣にして落ちてくる。足の下は絕ねず鳴動して幾度かの地震を感受し得られる。日頃默々たりし地球が滿腔の不平をこゝに吐き出してゐるのではないかと一種の感慨を以て私共は元の道に引き返した。泥流から少し離れた處で斷層の爲に片方が二尺も落ち込んで、且つ地辷りの爲に其處を過る小經が一間も食ひ違つてゐるのを發見して愈々當時に震動の激烈だつたのを知つた。

豆の味

湖畔へ下るのに辷つて困つた坂を登つてゐると中途でゴルディエフ君が切株に腰かけた儘動かなくなつて、一寸休憩する、タッタ十分間だから先に行けと云ふので、人夫をつけて置いて私共はパンを預けた家へ急いだ。其家はモウ見ねてゐるのだから、日本人なら疲せ我慢でも通すのだが、其處はロシア人丈に天眞爛慢である。此家は篠原と云つて讃岐から移住後十九年になると云ふ。私共の着いたのは一時過ぎてゐたから

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゴルデエフ君の來るのも待たないでパンを出て了つた。すると家の婆さんが一杯の莢豆の煮染を馳走してくれた。其味！私は今も忘るゝことが出來ぬ。基督が一杯の水だにと仰せられた教訓を、今更に深く味ひ得たのを感謝するものである。ゴルデエフ馬を待つ中に雨が降り出した。濡れながら漸く登つて來るのを途中迄出迎へた。虻田迄は歩けぬと云ふので同君は馬に乗つて私共より少し早くたつた。ノツトコ峠にのぼると、雨の中を馬の背に外套かぶつてゆく後姿が遙に見ゆる………

私は今此話を終る前に有珠岳の噴火の歴史を手短く述べて置きたいと思ふ。記録で知り得る範圍では今から二百四十七年前寛文三年の破裂が最も古いので、其後明和五年（一百四十二年前）、文政五年（八十八年前）嘉永六年（五十七年前）、今度の噴火は第五回目である　中で文政五年のが一番猛裂を極め、當時の虻田村は泥流の爲に全滅して、樣々な悲慘な物語が傳つてゐる。其時二人の馬方が、馬を捨てゝ逃るに忍びないと云つて牧場に止つた爲に、泥流に燒かれて死んだ。その碑が虻田の後の豆畑の中に殘つてゐる。今度のは七月二十二日から激しい鳴動が始つて二十四五兩日は一日にて三百三十回も地震があつた爲に、山の麓三里内は一時人影を見ることが出來なかつたが、二十五日の夜に湖畔が噴火してから鳴動も靜かになつたのである。八月の三日迄は時々新火口を生じたが、其後は殆ど現狀維持で噴煙のみ盛である。以前の活動は何れも山巓であつたが、此度はそれと違つた側火山の活動である。有珠岳の生命も最早餘り長くはないのであらう。（終）

秋の花

無繫生

春の日は永けれども、春の花の命は短し。秋日は短きも、秋花の命は長きものなり。凡て美なるものの短命なるは世のならひと知れど、逝きにしものを慕ひ　去りにしものを追ひ求むるは、心ある人の限りなき情趣なり。秋の日はさらぬだに思ひしげく、心みたるゝものを、せめて花ばかりはながらへしめんとは、有情なる自然のくわだてとこそ思はるれ。

秋涼いまだ淺けれど、獨り庭園を訪るれば、紅白二種の千日草は操正しく咲き賑ひ、ダーリアは人なつかしく、鷄頭は列を正うして深紅の色彩を飾れり。萩の花さへ少しくこぼれ始めて淸らかなり。コスモスは盛んに天を衝くの慨あれど、わが時未だ到らざるを以て暫し機鋒を收めてゆかし。蓼の花は誇るべき光彩なきを知りながら　時に際して其分を盡さんことを怠らず。菊の葉は茂り、枝太く、何とはなしに蘊蓄の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豊富なるを思はしめて、數句の後の淸薫と麗容とを想はしめて餘りあり。

春の花美はしく、春の光りのどかなるを見ては、人誰れか春色をめで、春光に醉はざらん。春の樂みの濃艶にして心情轉融々たるは人の等しく悦ぶ所なり。されど秋風袖を拂ふて人の心を淸め、秋光金線の如く斜めに面を射る時、香なきも命久しく、妖艶なるは春花に如かねども、操正しき秋の草花を見る時は、又一しほの感想深きものなり。淸涼、高雅の姿はいとよくこゝに現はれ來る。彼は廣さに於て勝れども、これは深みに於てまされり。人生の歡樂を燃やす春花は夢の如くうつろひ去りて跡かたもなし。人生の意義を傳ふる如き靜かなる秋草は今やわれら前にほゝゑみて心ゆかし。前者はヘレニズムの暢快を見れば、後者はヒブライズムの嚴粛を示す。

寺院の庭前にある百日紅は禪味を傳へ、邸宅の傍に繁りて夏の日より咲きつゝける夾竹桃は淸齋の風味を帶び、紅葉色まばゆき葉鷄頭は五月の花よりも紅なり。妙なる琴の音色洩れ來る生垣なる木犀の香ほり高きなど永く忘れ難きものなり。やがて高邁俊潔なる黄菊白菊の咲く頃に至らば天地は悉く神の稜威を示めし、人は何時しか此世ながらに天の御殿に詣づる心地するなり。秋の花遂には人界のものにあらず。

湯臺叢話（其三）

谷津直秀

七　スエーデンの「ナイチンゲール」と呼ばれた程有名な獨唱家ジエニー、リンドが、曾てボストンの旅館で獨り唱て居りましたとき、そこのカナリヤがまけずに囀つて遂に鳴き斃れたと云ひ傳へられてゐますが、其人が米國で初めて唱つたのは、ニユーヨークの、今は水族館となつてゐる所で、今より六十年前の事です。此初てのコンサートの純益が五萬圓の巨額に上つたそうです。所がリンドは其半分を直くニユヨークの慈善事業に獻上したとは中々面白い事ですが、此婦人が年老て再びニユーヨークで喝采を博そうと思て唱ひましたが、元の美い音はいつしか消え失せて、聽衆を落膽させたのみならず怒を起させたさうです。

八　「簡易生活」を書いて有名なシヤル、ワーグナーの或る說敎の中に次の如き意味の一節があります。「貧乏は不幸である然し不幸なる所因は多の貧乏人は自身貧乏人である事のみを知つて、人であることを忘れているからである」

九　鐵ぶちの眼鏡のはめの間に落ちたとき或るウエルスレーの學生が直ぐ物理の敎室へはせつけて馬蹄磁石を貸りて美事に釣り出だしたと云ふ話があります。又或所で電燈の針金が往來に切れて落ちましたとき、通りかゝりの一婦人が、ゴムの上靴を手にはめて其針金を持つて他の人に觸れない所にやつたそうです。科學的の知識が可成多く常識中に編入せらるる樣にしたいものです。此年の夏耳のわるい子供を游がせるのに脱脂綿を實際其子供の耳に入れてやつた人の母に遭ひました！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北清見聞記

片山幽吉

△清國人の食道樂

内地では最近村井弦齋君夫婦が一生懸命で食道樂の福音を宣傳したりバイブルを書いたりしたから、大に此道樂の趣味を味つたり高調する様になつた様だが、清國に來て見ると數世紀前に既に此道樂の趣味は既に鼓吹されてゐるのみならず、立派なる食道樂のバイブル食經が書かれてある。僕は未だ讀まないから内容の紹介は出來ないが、隨分參考にもなり且大に學ぶ所があらふと思ふ。この位だから今日多くの清國人が、盛んなる食道樂に耽るは又當然の結論である。夫なら何故清國人はこんなに食辛抱になつたかといふに、夫には色々理由があらふと思ふ。

先づ第一番には氣候の爲だらふと思ふ。清國の樣な大陸になると誰も知つて居る樣に、寒暑共に氣候が非常に鋭い、分けても北清と來たら、例の蒙古風の爲に黄塵萬丈位ひは我慢が出來るが、之と共に非常な寒氣がやつて來る。此時には鼻空内が氷る位ひだから、普通の洋服や和服では此切る様な寒氣を防ぐことは出來ない、何うしても毛皮を着ないと辛抱が出來ない。だから食物も先づ脂肪の多い極く熱い者を喰べて、内から溫める必要があるから自然と肉食が多くなる。今日何んな貧民でも一日に一回は豚肉を食ふ。若し之を虚言と思すレデーがおはすなら清國へ來て御覧なさい、暫く肉食をせずに居つたらおいとしや玉の御顔は忽ちサヽラの様になるのである。併し何ぼ肉食が必要だからとて常に同じ料理法では、遂に飽きが來るから、さてこそ色々と調理する樣になつたのだ先づ世界の料理中で皿數の多くて色々異つた料理のあるのは、支那料理が第一等である。又クックとしては支那人が世界第一等であることは、今日多くの各國軍艦内のクック長が支那人であることでも分かる。又我々が清人のボーイを使ふが、彼等は一寸敎へると直ぐ一通りの料理はやる、ナカ〳〵重寶である。

夫からは彼等の身體から來るのである。内地へ行つて居る

のは、十中九分迄は南清人だから身丈は餘り高からず又餘り太つても居らぬが、北清へ來るとナカ〳〵身丈も高く又一般に太つて居るが、中には非常な脂肪太りのしたナカ〳〵西洋人のビール腹以上の人間が居る。僕は小供の時三國志を讀んで董卓の屍のお臍に燈心を置いて、點火したが、三日三晩火がついて居つたとの一種のお伽話を讀んだが、今日之を考へるとナカ〳〵一週間は大丈夫と思はる人間が隨分居た。事態が此有様だから彼等が牛飲馬食をやるのは當然である。之等は內地への男女の留學生を御覽になつても明かな事である。日本人の牛飲馬食は多くは形容に留まるが。

△清人の牛飲馬食は事實である

例の苦力の、約一升も這入りそうなドンブリ茶碗に滋茶を五六盃も引き懸けるには豈驚かざるを得んや。我同人間では苦力共は身體を庭木の樣に思つて、夏水をやる心算で茶を呑むのらしいと評し合つて居るのである。蓋し當らずと雖遠からざるべし何となれば彼等は人間を數へるに一人二人といはずして一個二個と物品を數へる樣にいつて居る位ひだから清國人は茲に身體營養の必要上食道樂に耽るが、隨つて體力も強く元氣も旺盛である可き筈だが、何とか總身に智惠が廻りかねとやら、之に伴ふ精神氣魄の缺如せるを遺憾とするのである、

夫からは趣味の缺乏から來ると思はる。勿論南清地方は古代では書聖雪舟をして三歎せしめ、近くは廣業や大觀君等をして渡清せしめた位ひの土地なれば、風景文墨の趣味は豐富ならんが、北清に來ると此方面は全然缺損して居るから、自然に集まれば呑みよれば食ふといふ樣になるのである。現に我輩も內地では食道樂の方では無つたが、渡清以來一年有半此間に助成した習慣は此食道樂である。二三人集まれば必ず食ふ飲む正確な統計ではないが、天津の日本租界では一年中一晝夜に一回半の會食があるとやら、ナカ〳〵此方面は振ふのである。我等でも之だから清人が幾十世紀の實驗上習慣上、自然の趣味の缺乏を補ふ爲此め食辛抱の趣味を深くたざり、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殆んど耽溺の境に迄到るは又無理からぬ事なるべし。事態如此だから順序からいふと、食、衣、住であつて、何だか一種文明式にかなつて居る樣である。

僕は今清國人の食道樂の理由に就て一通り說明したから之から本論には入らふと思ふ。

吾人は試みに支那人街の一角か胡同（間の町）へ入這ると、盛んにキー〳〵いふ蠻聲の呼び聲を聞く。而して近けば之なん、古來有名な豚饅頭屋である。若し夫れ邊りの支那人共を花和尙や黑旋風や宋江に見立てたら、生ける水滸傳を見る樣である。夫からはクワーザーと云ふ細長く輪にした油揚である。之も矢張り原料は小麥粉であるが、夫を巧みにフライにしたのだ。支那人は特別に油の煮しめやフライが上手だが、其油は日本の樣に高價の胡麻油を買ふ必要が無く、極く手輕な安價な落花生の油が澤山あるから、皆之を用ゆるのである。此落花生の驚くばかり澤山ある事に付ては、かういふ話がある。夫は日露戰爭の眞最中天津へ澤山袋入の食料品が積集した。於玆一日本人大尉は之は必ずロスケの密輸出軍用品ならんと誰何して、一支那人を間者に送つて調べたが、豈測らや悉く落花生ならんとは、今でもそうだが、之れ位だから如何に多く用ゆるから、推察するに難からずである。

夫からは燒餠といふ小麥製の丸い薄い內地の小麥燒の樣な物を喰べる。之れは中へ生姜や葱を卷き込んでかじる。其他では康玉黍を喰ふが、之も內地と異つて燒かずに蒸て食らひ、若くは粉に引いて黃い色の美なる團子を作る。又粟の粥は一般に消化劑として喰べる。如何なる所から考へ來たか分らぬが、支那人の西洋人に於ける菓物若くば生野菜の類である。殊に運動不足の支那婦人は必ず之を食後に喰べるのである。先づ清人の下等社會には平常の食料は之位ひたが、日本人から見ると大邊粗食をやつて居る。特に內地と異なれるは、彼等は悉く砂糖の代りに棗を用ゆることである。併し之は衛生上大邊可さそうである。彼等の常食がこういふ配合だから、之を購ふに、一方豚肉を要するは又自然である。之無くんば、到底彼等の以上述べ來りし食道樂の理由をば解決する事は出來ないのである。

僕は序論や下等社會の食道樂の献立に付て、餘りに長たらしく書いたから、愈々正式の清國人の食道樂の本義に付て、更に次稿を述べる事としよう。

兩毛の三日

和田信次

明日は本鄕教會の大命を拜して足利で開かるゝ組合教會

關東部會へ出席せねばならぬ。けれども先月は講演會の爲に暇取つたので受持の原稿が遲れて居るし、おまけに講演筆記が可なり面倒だ。いつそ打棄てゝ飛んで行かうかとも思つたが、さりとて後の災難も氣にかゝるまゝよ今宵は奮發しやうと眼をこすり乍ら、二時迄筆を執る。そこ〳〵に纏めて少しばかり眠る。と間もなく眼が醒めた。時計を見ると四時が廻つたばかり、未だ起きるには早いな、と思ひ乍ら、むぐつて見たが七時に淺草停車場に行くのだから眠られもせぬ。何時もなら二番寢をする所だがと、恨めらしい氣もするが、怠惰者の節句働きは恁うしたものと觀念して飛び起きる。顏を洗ふ。服をつける、早いと思つたのが案外早くない。飯を食つて居ては間に合はないと二圓五十錢の靴をやけに踏みつけて、て〳〵本郷の三丁目に赴く。待つ事暫時。本郷本所と書いた割引電車に乘る。僕は一體割引などには滅多乘つた事がない男だ。と云ふと見ゑ坊でもありそうだが、實は大きな聲では云ひないが、朝がちと遲い爲である。外手町で乘り換へて業平橋に向ふ。車中で淺草停車場はと開くと背廣服の七つ下りに、ホワイト拔きと云ふ裝束を着けた人が親切に敎へて吳れる。有り難うと下車する。と其人は僕の先に云つて案内する何處の人かと親切な人もあるものだと思つて居る中に停車場に消ねた。辨當を持つて居たから多分驛に務めて居るのだらう。家を立つ時は大分急いだが來て見れば何の事た。發車に一時間もある。こんな事なら朝飯を認めて來ればよかつたと思つかが今更返る譯にも行かぬ。何かあるだらうと近所を見廻したがそれらしいものもない。仕方なく新聞を二三枚買ひ込んで、勝手な所を一寸〳〵拾ひ讀みをする。それも大抵讀み終つたから、も一つ何か買うかと思ふて居る所へ、近頃靈南坂の副牧師になられた栗原君が三つ紋の御羽織でやつて來た。やあ――。極めて簡單に挨拶が濟む。すると此度は早稻田の三井君がフロック姿堂々と、但し步振は例に依つてしとやかに來られたので座を分つ。

△淒愴の氣

汽車に乘つて暫くすると、洪水後の田畑が寂しく表はれた。短い苗が枯れかゝつた儘實も結ばずに、地について居る。僕の前に居た商人風の男が側の人を捕へてしきりに洪水の慘狀を語つて居る。彼處には堤がきれて此位ついたですと、指さし乍ら說明する。僕試に其商賣を聞けば時計屋との事。彼すこし出過ぎた齒ぐきを表はし乍ら、掛の取れぬ事などをこぼす。人氣を尋ねると中々委しいもので一々解決を下す、但し其論據は時計代を拂ふ事の遲速を以てするのである。幼稚な論據で可笑しくもあるが、聞けば萬更でない事もある。人生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各々所あり、恁うした話も車中のつれ〳〵を慰める。列車は走つて三十分ばかり行くと、急に徐行を初めた。水は未だあたりを埋めて線にすれ〳〵になつて居る。左手の方には水に浸つた家の二階から汽車の過ぎるのを眺めて居る者がある。屋根だけ流れた物置や、水に洗はれて竹ばかりの壁などがそこ此處に見ゐる。何に使つたのか松林には若い木が切り倒されて、ごろ〳〵ころがつて居る。見て居る中、何だか妙な氣になつて見たく無くなる。と栗原君は上毛月報に載つて居る蘆花氏の塞の河原と云ふ一文を指して讀んで見給へと云ふ。積んでは崩され、積んでは崩され、限りなきタイムを限りある努力で逐ふて居る可憐の狀態を寫して水害と比較してある。讀み乍ら顧みると、車は猶水の上を走つて居る。栗原君は更に木下尚江氏が或新聞に「水害は天災に無之、天刑に有之候」と書いた一節を引いて、不平の一端を漏す。論は進んで人物論となつた。カーヂナルニユーマンが出る。同マンニングが出る。ブシユネルが出る。ローバトソンが出る。色々の先生が引合に出る。けれども恁う云ふ事になると平生に似合はず僕は一言もない。仕方なく謹聽する、三井君は關せず焉で獨り窓外の風光を眺めて居る。

行く事幾分、とあるステーンションに着いた。逸早く三井君はすしを買つて召し上る。僕も飯を食はなかつた事を思ひ出して、十錢をすしに換へる。一つ怎うだねと栗原君に出したが先生滿腹と見えて手を出さぬ。かう云つた樣な譯で、道中恙なく足利に着く。チッケットを渡して停車場を出やうとすると佐藤君が顔を出した。例に依てやあの一聲を浴せ乍ら同行の牧師二人を紹介する。僕はこれからどつちへ行くのだと云ふと佐藤君は何でもよいから乘れと云ひ乍ら車夫に命令を下す。栗原君は人道の上から人力は好かぬと云ふのが平生の議論である。其議論の手前が怎うか知らぬが歩いて行つてもよいのだがと云ふ。それを足利教會の某君が時間が遲れますからと勸めると、否みをもせずしほらしく乘つた。

車五臺前後相接して轆轤の聲と共に足利敎會の下通りに出る車を乗てゝ玩弄物のやうな坂を登ると、敎會の前に萬國の旗が風にたなびいて居る。十時過ぎ部會の報告、協議が初まる。一時間も經つた頃來ない筈であつた敎會の荒木さんがひよつこりやつて來て、靜に席に着く。議事が終つて午餐を認める。分量稍多過ぎると思ふたが、殘すも失禮と、我慢して平げると、佐藤君が山に登らうと云ふ。

△月見ケ岡

山は敎會の背後にあつて約六分を消せば頂に行く事が出來る。名を月見ケ岡と云ふて佐藤君は其頂の湯澤と云ふ家に居る。月の十五日、佐藤君書を寄せて曰く。「素敵に好き所に候秋の七草咲き揃ひ、關東平野は一目に瞰え、背後は山又山、利根、渡良瀬は一望の間、晴天少なければ秩父方面未だよくは見ねざれど、是れも見ゆるならむ。富士、淺間、妙義、赤城と天下の絶景にて御座候。御來遊如何と。時は來れり。九折の坂路を佐藤君と連れ立つて先驅した。すると後から我も〳〵と續く。頂上に登ると何とも云はれない。何に狂ふたか、梅や櫻迄が咲いて居る。兎角する中に皆登つて了つた。と後から大きな大福を持つて來て配ばり初めた。食事が濟んだばかりだから僕は行儀よくポッケットに收めた。が外の連れは中々盛なもので、其大きな奴をやり乍ら、眺めて居る。隨分年輩の方もある樣だがそれにしても廉破がちとあり過ぎる。とつまらぬ處で故事を思ひ出す。荒木さんは御持參の寫眞器を出して、大福黨の方に向けたか、大人な氣ないとでも思つたのか、方向を轉換した。惜しかつたが降りて入會式に參列する。眞面目な奨勵や緣起に因んだ祝辭などがあつて閉會した。四時頃足利武千代氏に伴はれて市中に見物に出かける。道も廣く家作りも立派で、豫想外に繁華な所。織物陳列所、鑁阿寺足利學校と順次見終つて後皆出發の友人先輩を送り、夕暮に元來し道を辿つて敎會に歸つた。同夜野口氏に勸められて三井、ペッドレー、野口、平田諸氏の前座を務める。聽衆の程度が分らぬのと、不慣れの爲我ながら失敗したと思ふ講演者は僕とも前後五人可なり長かつたが、聽衆は獨りも歸る者なく、至極靜に聞いて居られた。田舍は流石のんきな所がある。其夜は月見ケ岡に佐藤君と枕を並べて寢た。明けて起き上ると、秋霧が軟かに木立にかゝつて、氣持が晴々とする。

△前橋行

八時十八分に前橋行に乗り足利の有志諸君と分れる。同行は平田、野口、片桐、ペッドレー荒木の諸氏と僕で、同車中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

他に一二の人が居る計り。ペッドレー氏は例の流暢な日本語で「これは買ひ切りですね」と云ふ。車中先輩諸氏と膝を交へて居る。人物評も出る。果てはそれもあきて持ち合せを幸ひ、名刺の品評を初める。平田氏は眞筆の奇麗なのを出してこれが四十錢ですと云ふ。するとペッドレー氏は磨滅しかゝつた活字で刷つたのを手にしてこれは前橋で作らせたですが、それじや今度は横濱へ賴みましやうとにこ〳〵云つて居られる。談論風を卷いて起ると云ふ樣な壯大な趣は無いが藹〳〵たる團欒の情家にあるが如く、親しみを重ねて前橋に着いた。先づ野口氏の案内で共進會をちらりのぞいてから、臺灣喫茶店に上る。店の側に十歳ばかりの支那少女が琴を抱いて居る。眼の涼しい眉の黑い、丸顏の子で無邪氣な意味を湛ゐて居る。彈いて御覽と云へば、其意を解してか、妙な歌に合せて彈き出す。其處を出て歸る途中同行に離れたので迷子となり、仕方なく乘りつけぬ人車を雇ふて野口先生の宅を訪れた。午後野口氏の令息みつちやんの御案内で公園に行く。未だ出來てから新しいと見ゐて昔を思ふよすがもないが、下を流るゝ利根と赤城、榛名の山々は永へに上州の美を夸つて居る。野口夫人は山が燒けると奇麗ですよ」と云はれたが、夕日にはまだ間がある。公園の池を廻つて、神明神社に出る。と光つちやんは怎う思つたのか、「神樣の家はどこの道を行くの」と訊ねる。答に窮して默つて居ると、光つちやんは山の端の煙の立ち上る方を指して「あつちだから行かうよ」と云ふ。光つちやん今年五つ、元氣な可愛い子である。

同夜、前橋教會の祈禱會に出席して心ゆく祈を共にした。

△上毛孤兒院と協愛女學校

先生と利根川の堤を沿ふて物語り乍ら上毛孤兒院を見舞ふた。光つちやんは丈にも餘る先生のステツキをかつぎ乍ら、砂の中に能く下駄を突込んでザク〳〵音をさせて居る。後になり先になり、折々思ひ出した樣に父ちやんと呼ぶ。應接所に通ると、左手に去にし宮内文平氏の肖像がかゝつて居る。宮内氏の逝かれた時、海老名先生は一日の說教を同氏の事業の爲に費された事などを思ふ。威あり、愛あり、風姿の凡ならぬものがある。院を立てゝより此に十年、宮内氏死して後は金子尙雄氏が其夫人と共に經營せられて居る。金子氏は宮内氏と共に院の創立者で至極さつぱりとした人である。僕が色々御苦心の事でしやうと經營談を誘ひ出しても多くを語らない。人傳に聞けば今年は水害の爲に有力なる贊成員の產を破つたものが數知れずあつて心を痛めて居るとの事。云はざる氏の心ゆかしく、案内につれて孤兒の室に行く。庭を前にした室に少女五六人枕を縫ふて居る。二人は共愛女學校に通

ふて居るとの事で野口先生は其名を呼んで話しかける。と彼女はほゝと笑ひ乍ら顔を埋める。庭には色々の花が秋を飾つて居る光ちやんは早くも籠の兎を見つけて何かやつて居る。夫人に暇を告げて、畑に出ると腕白盛りの少年が流れ來る水を便に障子を洗つて居る。我々を見て一人〳〵に頭を下げる。今院にあるもの四十二人願くば善き人となつて呉れる樣と心に祈り乍ら、外に出る。と子供に手を引かれた女の盲人が三味線を抱へて立つて居る。桑畑を縫ふて四五分行くと、共愛女學校の前に出た。

海老茶で塗つた大きな建物が二つあつて垣を廻らした中には濃やかな芝生が緑を敷き詰めて居る。女生五六人其處に遊んで居たが、光つちやんを見つけて名を呼ぶ。光つちやんは何時の間にか其仲間に入つた。校長の案内で寄宿舍を見る。途中で屢舍生に遇ふ。丁寧に禮をする者もあれば室を出やうとて我々を見きまり惡る氣にひよつと引込むのもある。而して所々で賑やかな笑ひが聞える。今日は御彼岸の中日で御馳走でもあるのかも知れぬ。それから敎室を見て、ヘッドレー氏を訪ねる。門前に十歳ばかりの白い服をつけた少女が芝生の上に赤い毛布を敷いて、ころがつて居たのを見て、色の配合がよいと思つた。此日午後五時五十分前橋を出發し、六時頃上野に吐き出された。歸來雪洲の「月と寐抱ねてそよ〳〵薄かな」の句を讀んで、秋の旅の感興を深くした。

洪水

あけぼの

（一）八大龍王　雲を呼べば　九天の堤　遂にきれぬ
百尺の枝の　なるゝ響　千丈のがけの　くづるゝ音
實におそろしきは　みなぎる水　哀れ哀れ　噫あはれ

（二）前栽の花は　色を競ひ　實れる稲穂は　八束に生り
人は家ごとに　むつび笑ふ　のあの時は今　來りけりな
實におそろしきは　みなぎる水　哀れ哀れ　噫あはれ

（三）飢に乳もとまり　子背に泣く　固めし餉を　三ツに別けて
からく玉の緒を　とめし人の　老ひし母君は　行衛知れず
實におそろしきは　みなぎる水　哀れ哀れ　噫哀れ

（四）心のちまたは　海となりて　想はさかまく　涙さかたろ
救のみふれは　ちかづけども　罪に溺れゆく　人ぞ多き
實におそろしきは　みなぎる水　哀れ哀れ　噫あはれ

摘草集

西洋文明の特色と日本文明の特色

文學博士　高楠順次郎

西洋文明の特色は物質的。されば形の上に現はれた色が多い。東洋の文明は精神的である。その同じ精神的であるうちにも、印度の文明は純精神的であるかはりには、形の上から見ては如何にも可憐なものである。されば印度の人は殆んど總てが乞食のやうである。學者とか、賢者とか云はれる人が乞食をして歩いて居る。斯ういふ次第であるから、乞食に物を與へずして、それがために乞食が死れば、殺人罪に問はれるやうになつて居る。これは英國政府が、在來の印度の習慣を重んじ、それを今日に於ても變更せざる結果であつて、誠に美しい處であると思ふ。

これは他のお話であるが、精神的を特色として居る日本に、物質的を特色させる西洋の文明が追々に入り込んで。そのために、形の上に現はれた日本文明の狀態は著しく變化した。

全體は女は風俗の變り惡いものとなつて居る、その婦人の風俗でさへ、西洋文明移植後の我か國に於ては、著るしく變つて來たのである。今日宮中に伺候するには、婦人は洋裝でなければならぬことになつて居る。けれども日本の特色たる精神的文明は増減されない。日本は未だ西洋にはならない。いくら形の上の西洋文明が輸入されても、日本の精神的特色は失はれぬ。けれども物質の勢力が追々まさつて行くのは事實である。この物質的文明の勢力と精神的文明の勢力とが相調和することは頗るむづかしい。その困難と云ふのは、物質的勢力に充ちた社會から受ける教育、精神的勢力に充ちた家庭から受ける教育、それと、學校で授ける教育。この三つが平均を得ることのむづかしいことを云ふのである。

（婦人畫報）

神經的な兒童教育

文學士　倉橋惣三

野蠻と云ふ意味を考へて見ますと、大人の目から見ました野蠻は、道德上の意味でありますけれど、之を子供の發性上から見ました場合には野蠻と云ふ事は取りも直さず、自己主張の意味となります、此の自己を主張すると云ふ分子は、大人から見ましたならば、訓練作法に背いて居るかも知れませんけれど、子供に取りましては、此の分子は誠に大切な事でありますから、妄りに之を抑制しやうとするのは宜しくありません、惡い干渉は勿論の事、善い干渉でも餘り多く大人の干渉を受けて育ちました子供は、兎角自己發揮の性が弱くなる傾向があります之は現在に於きましては、子供を紳士にするので結構なやうでありますけれど、子供の將來の發達の上からは、寧ろ害があるのでございます。

次に次際方法として私は斯ういふ事を定義したいのであります。

一、子供の事に就いては、充分注意し研究もして貰い度いが、子供に接する時に其の指導者たる大人は、決して自己の一定した教育觀念に囚はれる事の無いやうにして貰ひ度い。

二、成る可く子供の生活には、野蠻的分子を保全して置いて貰ひ度い、即ち子供の生活には、戶內よりも戶外の生活を多くして貰ひたい。

殊に都會に生活する子供は、都會其自身が既に野蠻と云ふ點から云へば、人工的機械的の才子が、充滿て居る所でありますから、自然人工的分子が勝ち過ぎ傾向があります、故に此の上尙ほ子供を人工的機械的に何うしやうと云ふ事を仰ぐ人がありましたならば、其れは愈々子供を苦しませるに過ぎません。（時事）

科學上より見たる月

理學士　一戸直藏

月の大さと重さ、かうして靜に見て居ると、月は太陽と同じ位に大きく見ゆますが、併し實際は天體の中で至つて小さいものです。却つて粟粒程に見ゆる星の方が大きいもので殆んどくらべものにもならぬ位です。然らば何故小さな月が一番大きく見えるかと申すに、之は我地球に最も近いからです。遠方にある大きな物よりも近くにある小さな物の方が何でも大きく見ゆる事は、誰も御承知でせう。

又月は地球に比較ると甚だ小さく、恰度地球の五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十分の一で、目方は八十分の一に過ぎませぬ。而して太陽は地球の五十分の一にも足らぬ小さな月と地球よりも百二三十萬倍も大きい太陽とは、同じ大きさのやうに見ゑますが、之も月の方が太陽よりも我地球に近いからです。それで月の大きさは直徑二千百六十三哩で、月と地球との距離は、一番遠い時が二十五萬九千六百哩、一番近い時が二十二萬一千哩、平均二十四萬哩です。

月の光の强さ。月には本來光はありませぬ。月の光るのは全く太陽光線の反射の爲です。其の光はどの位の强さであるかといふに、太陽の光の强さとは殆んど比べものにもなりませぬ。空一面を滿月で埋めても、太陽の光は及ばないのです。天文學者が測つて見た所に據れば、月の光は太陽の光の六十一萬八千分の一しかないといふ事です。又月が吾々に反射して居る光は、其太陽から受けた光の百分の十七位のもので、全部反射するのではありませぬ。即ち吾々が一年間月より受ける光は、太陽ならば僅か三十秒間で供給されるのです。

月の表面の山や海。地球から見る月の表面はいつも同じ面で、他の半面は見ることは出來ませぬ。これ月は自轉しつゝ地球の周圍を公轉するので、其自轉と公轉とが常に等しいからです。地球から見る月の表面は凸凹になつて居て、山もあれば谷もあります。望遠鏡で見ると、噴火した跡の坑までが、數限りなく明瞭と見ゑます。其中最も高い山は、コパルニカ山と、メイコ山です。是等は高さが二萬呎以上もあります。滿月の時肉眼で見て、其稍黑くなつて居る所は、月の一平地で、光の强く白い所は高地です。此高地にある山がメイコ山で、平地にあるのがコパルニカ山です。其他低い山はまだ澤山あります。又昔海であつたらしい所も見ゑます。之にも一々名稱が附いて居ます。例へば豐饒の海神酒の海夢の淺瀨和の海晴の海雲の海の如き、孰れも優美の名が多いのです。こんな山や海の跡がありますけれども、月の世界には空氣もなく、水もなく、從つて動植物もありませぬ昔はあつたのでせうが、今日では最早見られませぬ。(婦人くらぶ)

▲小兒と腸胃の病氣

醫學博士　加藤照麿

此頃たちの惡い消化器病が大分ある。氣候から云つても子供のお腹を惡くする時は、盛夏よりも、梅雨の頃初秋の頃に多いのだから、母親方は餘程注意しなくてはならない。

常に通じが不規則であつたり、いつも食べると直に便所に行くといふやうなのは、消化器の健康でない子供です。かういふ子供は矢張いろ〳〵な質の惡い消化器病にも罹りやすい譯だから、まづだらしなく食物を與へるといふやうなことから氣をつけて、消化器の健康をはからなければなりません。また獨逸などでは施療病院でも醫者が腹の惡い子供を診察して、今日と明日は乳をやつてはいけない、茶ばかり(烏龍茶のやうなもので、獨逸では一般に露西亞茶といふ)にして、置くやうにと云へば、チヤントその命令が行はれるやうです。どうも日本の母親方には。この事かむづかしい。赤坊に乳をのまさないでなどゝ云ふと、僅か一日の事でも、先生さう仰有いますけれども、迚も出來ませんなどゝいふ、或は醫者にせがまれると、内所で、少し位はといふやうなことで、僅にやつて仕舞ふ。消化器病の治療は藥よりも胃腸を休ませるのが第一です。藥をのませてゐるからモー癒るだらう醫者にかゝつてゐるのだから、大したことにはなるまいといふので、いろ〳〵なものをやる、飛んでもない間違ひです。子供が消化器病にかゝつてゐる時に何よりも嚴重に食物に就ての醫者の指圖を守らせることが出來なければ、藥は幾らのんでも、殆どその効を奏することが出來ません。

下痢をする時に牛乳をのませるのは宜しくない。脂肪が多いからです。下痢の時には、脂氣の少い粘滑なものがよい。即ち粥汁、葛湯などです。かういふ時に麥湯はわるい薄い番茶紅茶などを與へること。(婦人之友)

月もあり黄菊白菊暮るゝ秋　子規

朝寒ぢや夜寒ぢや秋がくるゝのぢや　紅緑

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事 其折々

▽日韓合邦後のくさぐさ

國際法で「合併」といへば、二國が其國家體制を夫々消滅さして、更に新たなる一國を作すといふ様に説明されてゐますから、この「合併」といふ眞義からいはゞ、日韓合併といふ成句は少くとも事實上の關係に當嵌らぬかとおもはれます。之を御注意すると同時に兎に角、韓國卽朝鮮が我日本帝國の領圖となつたといふことは「併合」といふ國際法上の用語で説明し得ることを申上ます。屢かに文字の前後で法律上の關係を説明する上に差違を生じて來るのです。

日韓併合條約が八月二十九日附を以て發布された。其の締結調印は廿二日であつた。が、至極平和の間に時局が解決され、數千年來の宿題に明答が與へられたといふことは永く兩國民のために祝福すべき一大慶事であります。我政府者が如何なる政策で、精神で又態度で新附の同胞國民に對するかは一槪に言ひ盡されますまいが、恐らくは朝鮮國民上下の存意に酌み、亦我國上下の宿志の遂行を圖るの一途に出づるより外なしといつて差支はあるまいと思ひます。それにつけても先づ第一は從來種々の批難を受けた統監政治は時局の解決と共に總督府官制を以て一新面目を施すべく、其官制は本誌の發行當日に發布せらるゝ噂ですから、今其内容等を詳報する譯にはまゐりませぬが、從來の臺灣總督府官制と大差がないと見て可からうとのこと。第二は、政黨政社が諭達によりて夫々解散したことです。併合問題には、當初から多くの貢獻をなした一進會も勿論解散しましたが、かく皆解散したものの、或は秘密結社をなすものがないではないと杞憂する者がありますが、これは時の經過と當局者の手心如何とによつて分明するものであります。第三は在來の朝鮮基督敎徒問題であります。之については海老名主幹の所見が本月號の「新人」に表はれてゐますから、是非御一讀を願ひます。今や新領地には平和の瑞雲靉いてゐるといへば一層結構至極のことであるが、やはり、武裝的平和の狀態を保つに過ぎないと卑下する消息通もあるやうですが、とにかく併合後最初の祝祭たる秋季皇靈祭の當日の如き上下新調の日章旗を掲げて祝意を表したることなど、秋晴の此頃、聞くも淸々しく亦快い事ではありませぬか。

▽巴爾幹諸邦の風雲

外交史上、いはゆる近東問題ほど興味多いものはありますまい。殊に極東問題も日露戰役で以て一先づ段落を告げ、餘す所はやうやく「中華」の迷夢から覺醒し始めた淸國の憲政準備問題、各國の之に乘ずる利權擴張問題等が世界の注目を値してゐるが、近東問題の搖籃地たる巴爾幹半島に於ける淸國とも云ふべき土耳古國が、今回ルーマニアと密約を訂結し、ブルガリヤが將來土國を襲擊するが如き場合には、ル國は全軍團をブ國の軍事的境界に派遣し、以て土國を援助するのが其密約の骨子であるさうな。之は巴里の

マタン紙が傳へタームス其他の英紙は皆之を眞としてゐる故、さて愈然うだとすれば、之によりて二樣の觀察を下すことが出來ます。第一は所謂巴爾幹同盟の希望が空しくならうといふこと。一體今囘の密約は墺獨兩國の直接的誘導の下に相連合したもので、墺國が一昨年、ボスニア及びヘルツエゴビナの二國を合して益南進の勢を張りて對手たる露國の外交史に一失敗の跡を蒙らしめたのである。爾來諸邦の間に、合縱連衡を劃策する者續出し或は土耳古以外の諸邦同盟說もあり、或は基督敎奉信諸國間の同盟說も行はれましたが、此密約の結果は自然、半島諸國二分して相對峙すべき形勢を示すに至りました。第二は墺獨兩國外交の勝利であります。土國はいはゞ東歐に於ける清國で、列國投資競爭の地點であつて、英國がメソポタミヤに、佛國がシリヤに、獨國がバグダツト鐵道を中心として小亞細亞諸地に各發展せんと企て機會ある每に、各國鐵道布設及採鑛權獲得の競爭に憂身を窶してゐるのは世に隱れなき外交上の一大活劇であります。で、列强は土國の歡心を失はないやうにと務めてゐるに、今や此密約が墺獨兩國の斡旋によつて成立したとすれば、兩國が益其勢力を增大すると共に夫丈け佛露英の勢力は減退する譯合である。然し、此密約成立の結果、墺獨土三國間の政治的軍事的同盟が成立するか否かは尙疑問として永く利害關係諸國の外交當局者の腦裡を往來するものであらうかと思はれます。其成否は英佛露三國が土羅密約締結に關連していかなる近東政策を執るかによつて分明するでありませう。

▽清國資政院の開會

清國立憲制度創設の第一着手として資政院が愈本月四日を以て開會さるゝことになりました。尤も議會の開設は宣統九年ですから、この資政院はいはゞ諮問機關に過ぎないのです。勅選民選にて各階級より選出したる議員の數は三百餘名で我衆議院よりも少く其議長は勅選に依るといふこと。我帝國議會卽ち貴族院衆議院をうつて一丸となしたやうな組織で、而も其選擧法議事規則等の如き皆範を我日本に則りしといふことですが、素より諮問機關たる以上は議決の結果は盡く政府をして實施せしむる趣意のものではなければ、我帝國議會とは其性質を異にしてゐることは勿論であります。而して議事に附せらるゝ者は中央政務の要領で、法制財政に關して大に意見を徵する所があらう。然し初會のことであれば、十二分の成績を擧ぐることは或は難事と思はねばなりませぬ。

▽千里眼婦人御船千鶴子の出京

熊本に千里眼婦人が出現したといふ一事は我國現代人の尤も奇異に感じ不思議に思ふ話題の一となり、殊に福來文學博士、今村醫學博士が態々婦人を訪ねて實驗の結果を發表されてから、一段世人の耳目を動かすに至りましたことは諸姉の既に御案內のことであります。婦人がこの度右兩博士等の慫慂にまかせ先頃東京に上られ滯在約十日にして亦故鄉なる熊本に歸られました。で、その滯在中、舊藩主細川侯邸、又同縣人なる淸浦子爵邸、

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

代議士安達謙三氏宅に於て夫々實驗されましたが、就中、博文館主大橋新太郎氏邸に於て諸博士連の立會の下にやつた實驗は不幸にして不成功に了はつたので、多少疑惑を招く節もあるやうに聞ねましたが、其宿元なる神田淡路町なる關根屋で、諸博士並に新聞記者立會の上に行つたのは成功し適確なる結果を得られました。こゝに至りて諸學者も或は俄かに不思議と呼ぶものもあり、或は世上斯例なきにあらずとて佛敎の六神通說をかつぐものもあり。或は五感の經驗を基礎とする現代の心理學にては解說が出來ぬといふものもあり。或は潜在精神の一新說によつて說明を與へやうとするものもあり。諸說紛々未だ歸一せざる有樣であります。然し實驗の有樣を見るに、先づ精神の統一に重きをおいてゐることは眞實であります。精神一到何事か成らざらんといふ故人の言は今更の如く思ひ浮べられます。

ところが御船女史以外にも亦一種の千里眼婦人而も姉妹二人がある、三河岡崎町杉浦きく子同むめ子といふのが其當人でありますが、九月廿五日福來博士の實驗の結果は未だ容易に斷定を下し難きものがあるといふことです。

▽臺灣蕃族の討伐

臺灣領有以來の最大事業は王化に親まざる生蕃諸族の處分の一事でありまして之がため幾多の年月と生命と財貨とを費したかは私共の想像すら出來得ぬことであります。いかに國家のためとは申せ、前人未踏の蕃界に出入し、深山幽谷の間に野獸に等しい強暴な蕃人と苦戰惡闘を重ねつゝある我軍の將卒に對しては滿腔の同情を表せざるを得ませぬ。然し、世人の此大事業に對する、恰も昔噺にある鬼退治ほどにも思つてゐませぬ、現に「讀賣」社の發企に係る慰問金募集の擧の如き豫想通には行かなかつたと云ふではありませぬか、遺憾至極のとであります。

生蕃と申しましてもガオガン蕃が最も強猛な部族で十九社に分れ大覇尖山と云ふ一萬尺以上の高山より源を發する大嵙崁溪の上流兩岸とシナレク溪の兩岸とに散在し、其附近の山腹を開いて耕作地となしてゐる。其位置たる極めて要害堅固で、高山峻嶺を四方に控へ銃器彈藥を貯藏することも比較的多く且人口も亦多數で、嘗ては支那軍を擊退したといふ歷史などを有するより、雄を四隣の蕃社に振ひ慓悍獰猛時々出草して隘勇線內に闖入し來り、警官、隘勇等を馘首した兇蕃であります。今回の討伐に敵對したのは之と、マリコワン蕃とであります。總督府は昨年の議會で五年計畫の理蕃策を建て其經費千五百萬圓支出の協贊を得ました。其處で第一着手としてやつた警察隊は不運にも失敗に了はりましたので、愈々軍隊の出動となりましたが、武運數々不利、將卒爲めに戰歿するの悲劇は到る處に演ぜられました。遂に糧食給せずんば生蕃の肉を喰へとの總督の電命と共に蹶起した軍隊の作動は、大津蕃務總長の蕃人籠絡策と共に着々其効を奏し隘勇線も短縮せられ、ガオガン族を威壓し、併せて從來首鼠兩端を抱ける溪頭南澳兩蕃を始め大小蕃社を震慴せしめ將來の理蕃政策上に好影響を與ふるに至つたといふことです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

隨感

子供の自重心を傷ふ勿れ

安井哲

子供の教育は誠に困難な者で、何れの母親も熱心に其愛子を善良に育て樣と力めて居られますが、實際子供を導く場合に、誤つた方法を取られる事も少くは御座いません。私が近頃實驗した一二の例を擧げて御參考に供しませう。

其一つは子供の前で、其子の批評をする事で、之れは善惡に關せず害があると思ひます。私は先頃子供を前に置いて、母親が其批評を敎師にされて居る時の有樣を觀察致しましたが、子供は母親の言ふ所を聽く前に、既に自分の缺點を言はれて居る者と覺悟して、心中安からぬ感を抱いて居る。表象は、子供を愛する者の眼には實に苦痛に映じました。之れと同樣に、多くの子供の前で、敎師が不注意に一兒童の批評をしたり、甚しきは母親が長子の短所を、幼弟幼妹の前に指摘して、自然に弟妹の輕蔑を受けしむる樣に導くのは、往々見る所の例であります。

又他の一つは、子供を疑ふ事であります。私が最近に目擊した例を、久しい夏休の後、幼兒が日々幼稚園に行く習慣から遠ざかつて、保育室内に入る事を忌つた場合でありました。此時附添が無理に入た樣としましたので、終に「ぽん々々が痛い」といひ出しました。其時私は丁度其處に參り合はせまして、「腹痛ならば彼方に連れていつて休ましておあげなさい」と申しますと、附添は「イヽエ之れは虛言で御座います。お室にお入りになるのがお厭だものですから」と答へました。嗚呼若之れが眞ならば、無邪氣なるべき幼兒がかゝる虛言を吐く樣になつた原因は、果して何處にありませうか。又子供の前に何の思慮もなく、かゝる言葉を敢ていふ樣な附添に大切な子供を任せて自身に代つて、一時的保護の任に當らしめるのは、之れが子供に對して親切でありませうか。

子供を愛らしく又正しく、育て樣と思ふならば、成るべく子供の美くしい性質を傷けぬ樣に、惡い傾は出來る丈、之れを積極的善い方に導く樣に勤められたい者であります。萬一第二の場合の樣に、假令子供が虛言を吐いても、大人は寧之れを信じ、其まゝ之れを病人取扱にして其虛言の結果は、子供自身が受け、唯一人靜に横臥して居るよりも、友達と遊びたくなつて、自身進んで室内に入らうと希望せしむる方が、理想的な取扱であります。

無慈悲なる母親

或る日小日向臺を通りました時、坂を上りつめた角に一匹の可愛らしい子犬が捨てゝありました。毛並も奇麗で丸々と太つた有樣、犬を好まない私でも、可愛いゝものだと思つた程でした。七八つ位にもなりませうか、紺飛白の衣物を着た男の子が、之を見て驅けて來て、抱いたり撫つたり、いゝお友達でも見附た樣に、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

眞から可愛がつて居りますと、お母さんでありませう、一寸離れた處に立つて居られた卑しくも見えぬ一婦人は、大聲に其子の名を呼んで、痛く叱りつけて、無情にも其子犬を塵溜の中に捨てさせ、小供の手を引摺るやうにして屋内に這り行くのを見ました。私は之を見て言ひ知れぬ寂しさに打たれました。我子が可憐なる動物に對して眞からの同情を表して居るのを、其お母さんが見られたら、如何なにうれしく思はれるだらふ。よく可愛がつておやりだつた。連れておいで、麵麭でもやりませうと云ふのがお母さんたる人の情ではありますまいか。さすれば子供もごんなにか嬉しく感じ、其同情心も益々深く働くやうになるでありませう。之が物も知らぬ子守女のした事としても中々に恨めしい事ですのに、やさしい懷しいと思つて居る唯つた一人のお母さんが穢い、打つちやりなさいと叱るとは如何したお母さんの胸の中かと、私は其お母さんが憎う御座いました。自分の家で飼養したくないと思ふなら、餘所の處に世話をして遣るなり、又は出入の商人に遣るなり、後の工夫は幾らでもつく事で御座いますから、たまヽ子犬に觸れて起つた子供のうつくしき情を助けて、よい事をおしだつたと褒めてやりましたら、子供の心はこの小さき事によつてうるはしき方面に開けて行くに相違ありません。兒を育てるといふ事は、乳を飲ませて、衣物を着せてやるといふだけの事ではありませぬ。こんな事は寧ろ育兒の末です。小供がよくなるのも惡くなるのも悉く母親の責任、良いお母さんを持つ事程小供にとつて仕合せな事はありません、小供を惡くするのは朋友でもなければ社會でもありません。實に輕卒な無慈悲なお母さん其人であります。

鑄形的女性

▲現時の女子教育家が所謂賢母良妻主義を標榜して居る間は吾國の女性は永久に婦人としての深刻なる隱微なる性能を表現し得ないであらふと思れる。賢母良妻固より結構な事である、現時の女子教育家が其手によりて所謂賢母良妻を作り得たならば大なる手柄といつてよい。

▲けれども吾人は無邪氣なる青年女子を捕へて先づ第一に「良妻賢母」を吹き込む必要あるかを怪しむ者である。青年は青年らしい事を以て餘いとする、大輪のリボンを頭髮にひらめかす可憐なる女學生の口より「良妻賢母」の語の喋々さるゝを聞くに至つては、吾人は痛ましき滑稽を感せずにはゐられない。

▲子供は子供として、青年は青年として教育すべきである、「良妻賢母」を說いて將來の備をする事は敢て何等の妨げはないけれども、吾人は青年は青年として教育せられたる者が、一旦入つて家庭の人となりたる時、妻母としての職責を盡くし得る事、必ずや「良妻賢母」を以て教育せられたる婦人に勝るものあるを思ふ者である。現時の女子教育は女子を鑄形と見做す者、變化極まりなき人生に處してよく臨機の策を劃し得るものは、斯る鑄形的教育の企圖し得ざる處である。（楠男生）

編輯だより

▲今日のみと思はぬ秋の夕だに寂しき物を小雨そぼふる。しとしと降り暮らす今日此頃の空合、末枯れたる朝顔の花もあはれに、誠に冷い心持ちでございます。されど空晴れて氣も澄みましたら、世の風物益々秋の色に出づ可く、あはれはいよいよ增す事で御座いませう。之れからは運動會やら茸狩、紅葉狩などに坊ちやん孃さまのお遊び時、願くば此の好時節を充分に野外運動の爲めにお用ゐになる事を望みます。

▲扨ては又一家團欒の夕、學窓夜々の愁思　何れも秋は格別なる情趣がある事と存じます。想ふに秋は冥想によろしく、内觀によろしい時で御座います。家屋にあつても學校にあつても、おのづからしんみりとした氣に充される機が多い事と思ひます、此時に當つてわれらの心を慰め勵まし淸くするのは、祈禱を除いて外に道がないと思ひます、祈禱は吾れ等の生命、日々の力の源泉であります。願くば此秋に於てわれらの靈性の上に一大進境を開く事を得たいと望みます。

▲去月十七日十八日には新人十週年紀念講演會を開きました處、豫想外の盛況にて每回四五百名の來聽者がありました事は同人の一同喜びに堪へぬ處であります、記者も其準備や手傳のために引き上げられ九月一杯は殆んど一日と雖も休む事が出來なかつた有樣で御座いました。從つて新女界の方も手だくれになり、思つた半分も纏める事が出來ず、御申譯のない事で御座います。來月號には相原君の北海道の修道院參觀記、庭子木津也姉の信仰美談、新たに歸朝せられたる小此木姉の家庭談、有田藤郎君の讃者修行記など、趣味津々たる記事を掲載致す筈で御座います。

▲本誌主幹海老名氏は本月一日より神戶に開かるゝ組合總會に出席せらるゝため、去る廿六日下神せられました。同御夫人も同婦人會で講演を試みらるゝ爲めに下神せらるゝ都合で御座います、元良博士夫人は目下は令息が御病氣中などで專心御看病に從事せられて居ります、承りますと追々御快いとの事、一日も早く御全快の事を祈ります。

▲神澄み氣淸き此頃で御座いますから、讀者諸姉の文藻も既に重い事と信じます、徒らに篋裡に秘め置かれず、どしどし御投稿あらん事を希望致します。紙數の許す限り歡んで掲載致します。

▲本社事務所は今度已むを得ぬ都合がありまして、**小石川小日向臺町一丁目三十番地に移轉する事となりました**。元の處からつひ二三丁隔てた處で御座います。凡て原稿は新事務所宛に御送附を願ひます。

本誌定價　一部金拾錢（郵稅ナシ）◎六部半年分前金六十錢（郵稅ナシ）◎壹ケ年分十二部前金壹圓拾錢（郵稅ナシ）

外國行定價　壹部金拾四錢（郵稅ナシ）◎半年分前金八拾錢（郵稅ナシ）一ケ年分前金壹圓六拾錢（郵稅ナシ）

廣告料	
行 廿七字詰	金廿五錢
四分ノ一頁	金三圓
半頁	金五圓
一頁	金拾圓
内表紙拾二圓	外表紙拾八圓

●本誌代金は總て前金に御拂込み被下度候

●郵券代用は一割增の計算にて御送附被下度候

御送金は振替にて拂込るゝ方便利に候。但手數料金壹錢御加へ被下度候

通信、爲換、寄贈雜誌等は必ず左の宛名に願上候

東京市小石川區小日向臺町
一丁目三十番地
新人社事務所
振替貯金口座一四〇〇五

移轉

明治四十三年九月二十九日印刷
明治四十三年十月一日發行

發行兼編輯人　東京市小石川區林町四十三番地　海老名彈正
印刷人　東京市小石川區小日向臺町一ノ三〇　相原一郎介
發行所　東京府下豊島郡巣鴨村大字巣鴨六百六十一番地　新人社
印刷所　東京市赤坂區田町五丁目十一番地　齋藤活版所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新人十週年紀念號目次

（十月一日發行）

社説

朝鮮傳道……海老名彈正

紀念會講演

新基督教觀……三宅雄次郎
現代の要求……金子馬治
自由基督教の將來……三並良
傳來の思想と個人の信仰……姉崎正治
日韓合併に就ての所感……江原素六
韓國合併と國民の責任……島田三郎
所謂韓國傳道の意義……山路愛山
日本民族と基督教……小崎弘道

教壇

國民の品格と信仰……海老名彈正

想苑

新人十年史斷片……小山東助
基督教に殘存せる自然神的要素……高木壬太郎
パウロが抱きし新人の思想……渡瀨常吉
傳ふる處何物ぞ……川合山月
一等國……栗原基
恩愛の活殺……中村長之助
書家の妻の日記……一色醒川
基督教と四大問題……武本喜代藏
書聖の弟子の日記……松本雲舟

新らしき支那人問題……原口武次郎
宗教家の劇場改革論……中村春雨
一路恩……不喚樓
赤き果……佐藤茂
聖書改譯異見……竹崎八十雄
琵琶歌の悲哀と三弦樂の悲哀……近藤良董
言論と能力……本間俊平
北窓のおもひ……土屋痩猿
最深最奥の要求……小山鼎浦

聖書研究

馬可傳……海老名彈正

雜爼

新人の過去と將來……村田勤
新人の三年來の知人として……富永德磨
拾週年記念會に際して吾黨の使命を懷ふ……西内天行
拾年紀念號の發行を祝す……成瀨仁藏
新人十週年紀念を祝す……デフォレスト
新人記者に呈す……ペドレー
新人の使命……野口末彦
十年紀念號の發行を祝す……田村武次
大陸初對面の記……海老名一雄
傍聽記……和田信次
講演會前記……大塚楠男
同人風聞錄……孤峰生

發行所　東京市小石川區小日向臺町一丁目三十番地　新人社
（振替口座一四〇〇五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東伏見宮妃殿下の御愛讀を辱ふす

入會の最好機今日直ちに入會せよ

女子手藝講義錄

内容斯の如く豐富

壹ケ年修了

裁縫科（和服洋服）　編物科（各種）　組糸科（各種）
刺繡科（和洋各種）　袋物科（各種）　造花科（花卉果實）
割烹科（和洋料理　和洋菓子）　細工物科（撮細工、綿細工、瓶細工、裁縫細工　押繪接物細工）
手藝用圖画科（用器畫、配合法、運筆寫生法圖案法）　手藝教授法……
其他課外講義數種

共立女子職業學校
櫻友會
女子手藝普及會
内編

入會者の質問は毎號誌上を以て懇切叮寧に解答をなす
優待會員の製作品は審査の上賞品を呈す
壹ケ月入會費僅に金參拾錢　●壹ケ年會費　金參圓二十四錢　●半ケ年會費　金壹圓七十錢
日本の婦人は如何なる事情ありとも此の有益なる講義錄を
家庭に備へる必要あり（内容見本入會規定無代進呈）
小中等教員受驗を受けんとする婦人は速に入會せよ

機敏に世の流行を逐うは本會の獨得

入會申込所　東京日本橋角　大倉書店
▶振替口座東京二三八番◀　▶電話本局四一四番◀

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎合本◎

新人 第八巻 代價送料共 金一圓

新人 第九巻 同 金一圓廿五錢

新人 第十巻 同 金一圓廿五錢

新女界 第一巻 同 金七十五錢

裝釘堅牢優美永久保存に絶好也

右殘本各數部あり

IVORY SOAP

アイボリー石鹼

Procter & Gamble, Cincinnati

日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー石鹼」と記入し一見模造惡質石鹼と判別に容易ならしむ

御購求の節「アイボリー石鹼」に御注意を乞ふ

女子音樂園 生徒募集

(一)音樂科

ピアノ科　オルガン科

ヴァイオリン科　琴科

唱歌及び樂理科

●右は一科以上幾科でも兼修が出來る

●初學者と否とを問はず、いつでも入學が出來る

●普通科、受驗科、高等科等にも補缺入學を許す

(二)繪畫科

日本畫科 顧問 川端玉章

同 荒木寛畝

同 川合玉堂

塗板畫科 講師 川村東陽

●初學者と否とを問はずいつでも入學が出來る

(三)割烹科

西洋料理 學習院女學部講師 和久井淺之助

日本料理 同 三枝富吉

詳細の事は申込次第規則書を送ります

東京下澁谷女子音樂園

（青山電車終點より直に左折約五丁）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人道講話

（人道の鼓吹）第九號十一月一日發行（處世の指針）

一、修養の意義
二、修養の必要なる所以（以上第一號）
三、修養の必要なる原理（儒教に就きて）
四、同―佛教に就きて（以上第二號）
五、修養の分類
一、身體に關する修養
二、技藝に關する修養
三、知識に關する修養
四、情操に關する修養
五、意志に關する修養
六、最終理想の修養（以上第三號）
六、教育と修養との關係
七、道德と修養との關係
八、宗教と修養との關係（以上第四號）
九、修養の目的
一、教育上より見たる修養の目的
二、倫理上より見たる修養の目的
三、宗教上より見たる修養の目的
四、教育倫理及宗教最終の歸着點（以上第五號）

講話主題 **修養に就きて**

文學博士 **村上專精先生**

十、修養の方法（其一）
一、修養に志ある者は先づ其の友を選べ
二、修養に志ある者は惡友を善用すべし
三、修養に志ある者は逆境を善用すべし（以上第六號）
十一、修養の方法（其二）
四、修養に志ある者は順境に注意すべし
五、修養に志ある者は心の惡魔と戰へ（以上第七號）
十二、修養方法（其三）
六、修養に志ある者は先づ今日に注意せよ
七、修養に志ある者は多年一日の如くなれ（以上第八號）
十三、修養の方法（其四）
八、修養に志ある者は宜しく規律的生活なれ
九、修養に志ある者は須く古人の行跡に倣ふへし（以上第九號）

◎毎號趣味多き感話、雜錄、附錄を掲載す

◎本會は誰れにも入會を許す◎本會々員には毎月本誌を無代にて配頒す◎會費一年六拾錢入會の際納附の事

見本 金六錢但し五厘切手に限る

發行所 東京小石川區丸山町 振替東京二〇三二四 人道講話會

院長診療、月、水、木、金、午前入院、診後應需、
松田、林、峰間三副長ハ目下當院ニ在勤、
電 本 八八八番（病院用） 八九八番（私宅用）
東京神田區駿河臺鈴木町二番地、御茶水橋附近

東洋内科醫院

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ケ崎町相洋濱、従停車場半里
電 チガサキ二番

南湖院

河野、高橋兩副長ハ目下當院ニ在勤、
院長診療、土曜日午後入院、診後應需、

看護婦志願者募集

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

毎月一日一回發行

明治四十二年三月廿九日第三種郵便物認可

ライオン歯磨

慈善券 引換殘餘金 第九回決算 報告

一金壹萬九千貳百四拾八圓九拾八錢貳厘 但(自明治四十二年一月至同十二月)滿一ヶ年間ライオン歯磨小袋壹千九百貳拾四萬八千九百八拾貳袋賣捌に付此慈善券總金額

內金九千貳百四拾參圓四拾六錢五厘 但同上年間ライオン歯磨慈善券附空袋九百貳拾四萬參千四百六十五袋引換金額

差引壹萬〇〇〇五圓五拾壹錢七厘

內金貳千四百七拾圓四拾參錢五厘 但自明治四十二年一月至同年八月十五日ライオン歯磨慈善券附空袋貳百四拾七萬〇四百參〇五袋引換金額

差引引換未濟金七千五百參拾五圓〇八錢貳厘

右金額左記の通分配致候也

金額	地名	團體
金五百圓	東京	水災善後會
金三百五十圓	衆議院	臨時水害救濟會
金二百五十圓	岡山	岡山孤兒院
金二百五十圓	東京	東京市養育院
金貳百圓	大阪	博愛社
金貳百圓	東京	東京感化院
金貳百圓	東京	福田會育兒院
金貳百圓	北海道	函館慈惠院
金壹百圓	京都	京都市立盲啞院
金壹百圓	大阪	大坂汎愛扶植會
金壹百圓	東京	東京出獄人保護所
金壹百圓	東京	家庭學校
金壹百圓	東京	日本力行會
金壹百圓	橫濱	橫濱孤兒院
金壹百圓	神戸	神戸孤兒院
金壹百圓	熊本	熊本回春病院
金壹百圓	金澤	小野慈善院
金壹百圓	橫濱	幼年保護會
金壹百圓	東京	救世軍慈善事業部
金壹百圓	大阪	大坂市立盲啞學校
金壹百圓	東京	無料宿泊所
金六拾圓	廣島	廣島孤兒院
金六拾圓	長崎	長崎盲啞學校
金六拾圓	東京	東京育成會
金六拾圓	東京	瀧乃川學園
金六拾圓	東京	婦人共立育兒園
金六拾圓	岐阜	清水育兒會
金六拾圓	名古屋	愛知育兒院
金六拾圓	廣島	廣島慰癈院
金六拾圓	東京	慰癈園
金六拾圓	熊本	肥後慈惠院
金六拾圓	福岡	龍華育兒院
金六拾圓	松江	山陰慈育家庭學院
金六拾圓	松江	松江育兒院
金六拾圓	相模	小兒保育園
金六拾圓	前橋	上毛孤兒院
金六拾圓	長岡	長岡福田園
金六拾圓	長野	大勸進養育院
金六拾圓	仙臺	仙臺育兒院
金六拾圓	神戸	戰役紀念保育會
金六拾圓	東京	同愛社
金四拾圓	京都	平安德義會孤兒院
金四拾圓	大阪	小林授產場
金四拾圓	肥前浦上	婦人同志育兒所
金四拾圓	山梨	身延深敬病院
金四拾圓	大阪	興風會
金四拾圓	岡山	花畑施療院
金四拾圓	岐阜	日本育兒院
金四拾圓	勢伊	三重感化院
金四拾圓	東京	二葉幼稚園
金四拾圓	東京	東京養老院
金四拾圓	橫濱	慈善惠華學院
金四拾圓	大阪	大阪孤兒院
金四拾圓	同	大阪養老院
金四拾圓	同	大阪約翰學園
金四拾圓	神戸	兵庫縣出獄者保護會
金四拾圓	神戸	神戸救民院
金四拾圓	同	神戸訓盲院
金四拾圓	同	神戸報國義會
金四拾圓	姬路	播磨慈善會育兒院
金四拾圓	京都	京都救濟院
金四拾圓	名古屋	名古屋養老院
金四拾圓	豐橋	豐橋育兒院
金四拾圓	長岡	長岡盲啞學校
金四拾圓	岡山	甘露育兒院
金四拾圓	岐阜	岐阜訓盲院
金四拾圓	津	三重育兒院
金四拾圓	同	津養育院
金四拾圓	松山	愛媛慈惠會
金四拾圓	高知	高知慈善協會
金四拾圓	丸龜	海南慈善會
金四拾圓	鳥取	鳥取育兒院
金四拾圓	長門	防長孤兒院
金四拾圓	岡山	菩薩會孤兒院
金四拾圓	佐賀	佐賀孤兒院
金四拾圓	京都	平安養育院
金四拾圓	滋賀	滋賀縣育兒院
金四拾圓	大阪	愛染保育所
金四拾圓	秋田	感恩講兒童保育院
金四拾圓	大阪	大坂婦人ホーム
金四拾圓	金澤	金澤育兒院
金參拾圓	長崎	長崎孤兒院
金參拾圓	仙臺	東北慈惠院
金參拾圓	高松	讃岐學園
金參拾圓	松山	愛媛保護場
金參拾圓	富山	深敬保育園
金參拾圓	鹿兒島	鹿兒島盲啞學校
金參拾圓	鹿兒島	鹿兒島孤兒院
金參拾圓	富山	富山慈濟院
金參拾圓	福島	福島育兒院
金參拾圓	北海道	小樽孤兒院
金參拾圓	弘前	東北育兒院
金參拾圓	山形	羽陽佛教育兒院
金參拾圓	埼玉	埼玉慈善會保護院
金參拾圓	水戸	茨城縣保護會
金參拾圓	若松	會津孤兒院
金參拾圓	高崎	高崎育兒院
金參拾圓	靜岡	遠江育兒院
金參拾圓	大分	大分育兒院
金參拾圓	石見	石見慈育院
金參拾圓	越後	和敬孤兒園
金參拾圓	同	佛慈養育院
金參拾圓	三重	九華育兒院
金參拾圓	大津	滋賀縣育兒院
金參拾圓	盛岡	盛岡孤兒院
金參拾圓	德島	阿波國慈惠院
金參拾圓	青森	青森慈善院
金參拾圓	北海道	小樽慈惠病院
金參拾圓	奈良	大和育兒院
金參拾圓	靜岡	靜岡ホーム
金貳拾圓	福島	郡山訓盲學校
金貳拾圓	千葉	成田山感化院
金貳拾圓	前橋	前橋育兒院
金貳拾圓	新潟	寶珠育兒院
金貳拾圓	同	魚沼育兒院
金貳拾圓	靜岡	富士育兒院
金貳拾圓	東京	東京愛隣社
金貳拾圓	東京	慈愛館
金貳拾圓	東京	大日本慈善協會
金貳拾圓	京都	丹波育兒院
金貳拾圓	愛知	岡崎盲啞學校
金貳拾圓	福島	私立福島訓盲學校
金貳拾圓	北海道	小樽盲啞學校
金貳拾圓	北海道	札幌育兒園
金貳拾圓	滋賀	滋賀縣保護院
金拾五圓〇八錢貳厘	東京	少年修德會愛育院

合計金七千五百參拾五圓〇八錢貳厘

弊店曩に汎く稟告して昨四十二年度ライオン歯磨小袋入添附の慈善券引換未了殘餘金額の處分方法に就て大方諸彥の御高見を仰げり元來ライオン歯磨の慈善券より生ずる金額は其全部を擧て不幸なる鰥寡孤獨を救濟するの一助に資せんとするものなるに拘らず今日尙曩に稟告したるが如く當然引換を了せらるべき金額の多額に殘れるを見るは弊店の最も遺憾とする所なればなり然るに江湖諸彥の深厚なる御同情を得て其引換未濟金額の處分法に就て示敎を辱ふせらるゝもの無慮數百通の多きに達し而かも其多くが何れも前例に因て慈善事業に喜捨すべしとの高教に基き更に市內特約販賣店主 灰谷儀助君 田中吉兵衛君 柳下藤五郎君 天野源七君 佐々木玄兵衛君 佐野小兵衛君 三輪善兵衛君 諸氏の綿密なる審議協贊を經て前記の通り確定し直に其寄附萬般の手續を終了せり

以上の如く茲に第九回の決算を明らかにするを得たるは全く愛用諸彥が深き御同情の賜物として弊店は厚く其光榮を感謝し猶倍舊御愛顧の程伏て奉希上候

ライオン歯磨本舖 東京市神田區柳川河岸 **小林富次郎**

支舖 大阪市東區博勞町二丁目 名古屋市西區傳馬町四丁目 清國分行 天津、漢口、上海

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN